

第 1 章

「第 2 期浜松市スポーツ推進計画」 の策定にあたって

1 計画策定の経緯

本市では、平成 21 年 3 月に「浜松市スポーツ振興基本計画」を策定し、市民一人ひとりがスポーツをライフスタイルの一部ととらえ、心身ともに健やかな生活を営むことができるスポーツ文化都市を実現するため、「するスポーツ」「観るスポーツ」「支える（育てる）スポーツ」の 3 つをスポーツ振興の柱として、スポーツ施策を推進してきました。

国においては、平成 22 年 8 月に「スポーツ立国戦略」を策定し、スポーツを国家戦略とする考えを示しました。その後、昭和 36 年制定の「スポーツ振興法」を全部改正し、スポーツ立国の実現を目指すため、平成 23 年 6 月に「スポーツ基本法」を制定しました。「スポーツ基本法」では、スポーツに関して基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務が規定されました。この規程に基づき、文部科学省は平成 24 年 3 月に「スポーツ基本計画」を策定し、静岡県においては「静岡県スポーツ推進計画」がまとめられました。

本市においては、「浜松市スポーツ振興基本計画」の計画年度終了に伴い、「スポーツ文化都市 浜松」の実現を目指し、スポーツ推進の方向性を明確にして、総合的かつ計画的に取り組んでいくため、「浜松市スポーツ推進計画」を策定しました。目標年次を平成 26 年度から平成 30 年度とし、社会情勢や国の動向、市民のニーズの変化に応じて、数値目標や各事業の見直しを行いました。

こうした中、平成 29 年 3 月には、文部科学省が平成 29 年度からの 5 年間で総合的かつ計画的に取り組むべき施策を示した「第 2 期スポーツ基本計画」を発表しました。

これらの経緯から、「浜松市スポーツ推進計画」の計画年度終了に伴い、これまでの取り組みを検証し、現状と課題を踏まえて「浜松市スポーツ推進計画」の内容を見直しました。そして、「スポーツ基本計画」ならびに国・県の計画を踏まえ、本市が計画的、かつ総合的にスポーツ推進に取り組んでいくための「第 2 期浜松市スポーツ推進計画」を策定するものです。

＜ 計画策定の背景及び計画期間 ＞

国

昭和36年6月	スポーツ振興法	制定
		：
平成12年9月	スポーツ振興基本計画	策定（平成13年度～23年度）
平成22年8月	スポーツ立国戦略	策定
平成23年6月	スポーツ基本法	制定
平成24年3月	スポーツ基本計画	策定（平成24年度～33年度）
平成29年3月	第2期スポーツ基本計画	策定（平成29年度～33年度）

県

平成17年3月	静岡県スポーツ振興基本計画	策定
平成23年3月	〃	見直し
平成26年3月	静岡県スポーツ推進計画	策定（平成23年度～32年度）

市

平成21年3月	浜松市スポーツ振興基本計画	策定（平成21年度～25年度）
平成26年3月	浜松市スポーツ推進計画	策定（平成26年度～30年度）
平成31年3月	第2期浜松市スポーツ推進計画	策定（平成31年度～36年度）

2 計画策定の趣旨

日本のスポーツは、学校体育や企業スポーツを基盤とした「する」スポーツを中心に発展してきました。しかし、少子高齢化や経済状況の変化、急速な高度情報化など、社会的背景の変化とともに、企業スポーツ等の衰退、子どもたちの体力低下、国際競技力の低迷など、スポーツ界も多くの課題に直面しており、スポーツ環境の整備については、これまでと同じ形で進めていくことが難しくなっていると考えられます。このような社会的背景の変化とそれに伴う価値観の多様化、ライフスタイルの急激な変化は、人々のスポーツへの関わり方にも大きな変化をもたらし、「する」スポーツだけでなく、「みる」「ささえる」などの様々な関わり方が、存在するようになってきています。

また、スポーツは人と人及び地域と地域の交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものであり、「スポーツ振興」の果たす役割は、健康増進や体力の向上にとどまらず、地域社会の再生や地域経済の活力創造に寄与するものとしての期待が高まっています。スポーツを通じた地域・経済活性化のためには、スポーツの成長産業化、スポーツ環境の充実、そしてスポーツ人口の拡大へとつながっていく好循環が重要です。特に、計画期間中には、ラグビーワールドカップ 2019 や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等の大型スポーツイベントの開催に伴う事前キャンプの誘致などを通じて、「スポーツ文化都市 浜松」の魅力を発信するとともに、地域資源とスポーツを掛け合わせた「スポーツツーリズム」が注目されています。

本市では、2020 年の東京大会をきっかけに、市民のスポーツへの関心、理解を高め子どもや若者達に夢と希望を与え、市民一丸となった取り組みを進めることが大切と考えます。また、市民とトップアスリートとの交流を図ることで、選手との一体感などが生まれ、相手を思いやり、いたわる心の醸成や、スポーツを通じたグローバルな視点と知識を合わせ持つ人づくりに繋がることも期待されます。

このような現状や課題を踏まえつつ、多様化する市民ニーズを的確にとらえ、本市の特性を活かしながら、スポーツ振興の方向性を体系的に示し、スポーツ施策をより一層効果的・効率的に推進していくことを目的として、第 2 期浜松市スポーツ推進計画を策定しました。この計画を確実に推進していくことで、年齢や性別、障がい等を問わず、市民一人ひとりがライフスタイルの一部にスポーツを取り入れ、それぞれの体力や、技術、興味、目的に応じて、気軽にスポーツに親しみ、楽しみ、心身ともに健やかで、豊かな生活を営むことができるまち「スポーツ文化都市 浜松」の実現に努めていきます。

市民一人ひとりがライフスタイルの一部にスポーツを取り入れ、

心身ともに健やかで、豊かな生活を営むことができるまち

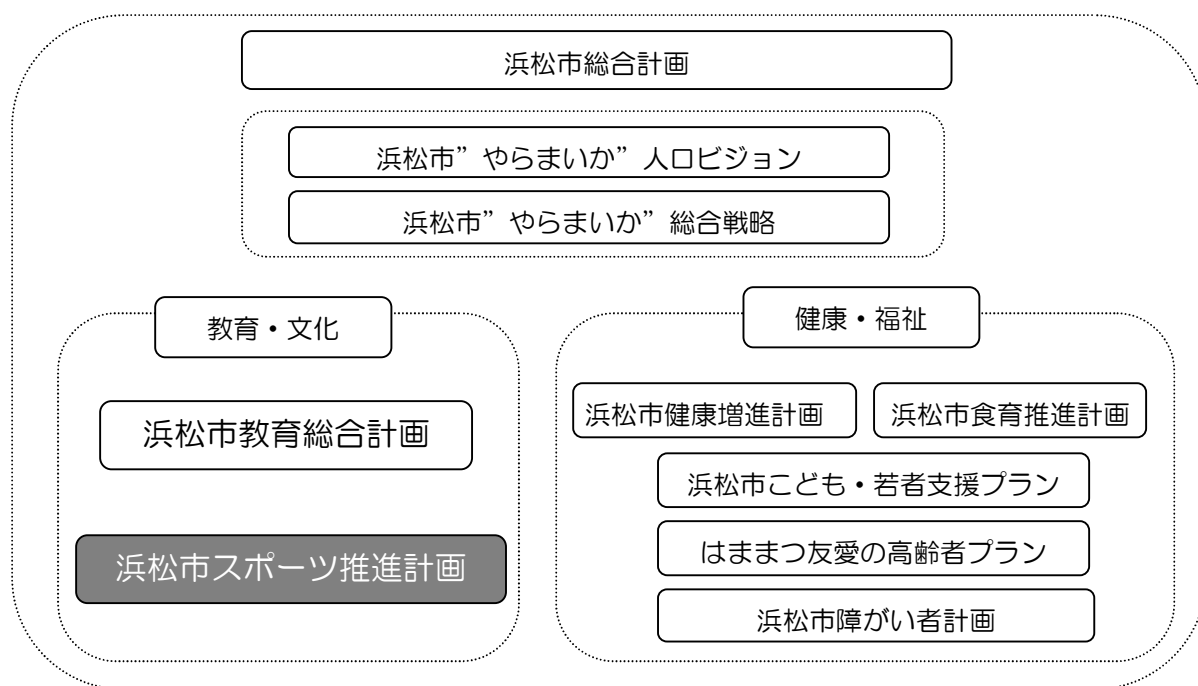
⇒ 「スポーツ文化都市 浜松」の実現

3 計画の性格

本計画は、国の「スポーツ立国戦略」、「スポーツ基本法」及び「第２期スポーツ基本計画」の趣旨及び方向性を踏まえ、本市の実情に照らし合せて策定したものです。また、本計画の策定にあたっては、本市の上位計画である「浜松市総合計画」との整合性を図っています。

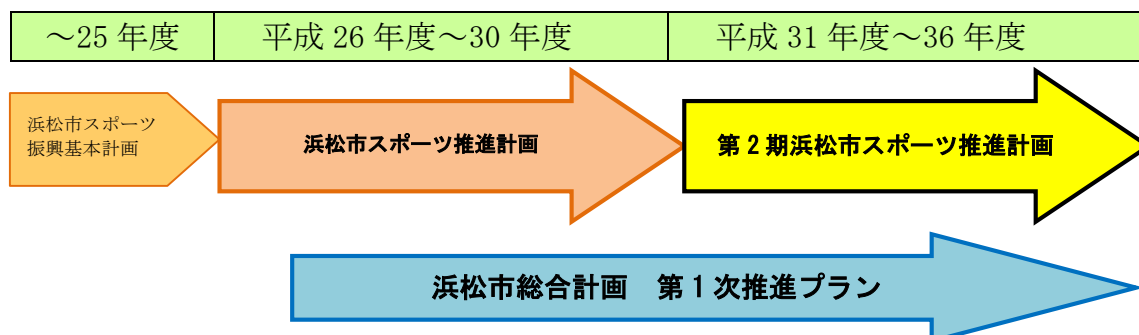
第２期スポーツ推進計画は、[浜松市スポーツ推進審議会](#)の意見をもとに作成し、市民の皆様やスポーツ団体等からも意見をいただき策定しました。

浜松市総合計画における位置づけ



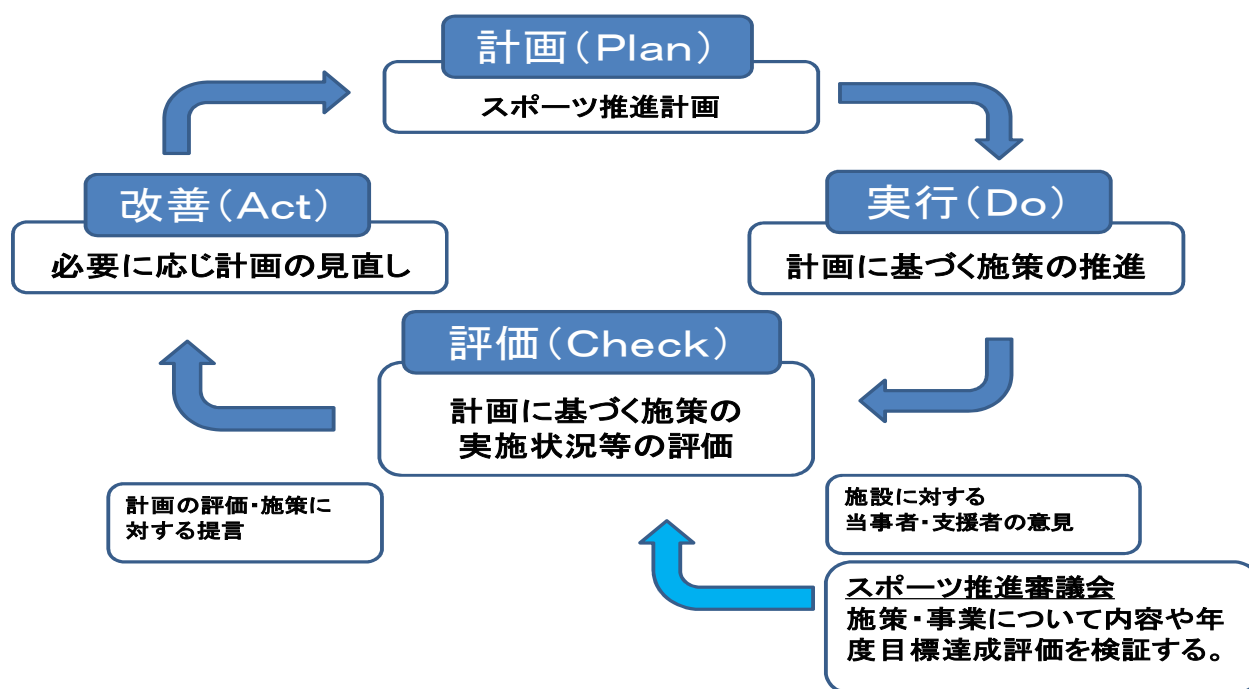
4 計画期間及び進捗管理

第2期浜松市スポーツ推進計画の計画期間は、浜松市総合計画（浜松市未来ビジョン第1次推進プラン）に合わせ、平成31年度から平成36年度までの6年間とします。



また、第2期浜松市スポーツ推進計画の目標に向けて、PDCAサイクルを導入し、定期的に評価結果を市民に公表します。

【PDCAサイクルのイメージ】




PDCAサイクル：Plan（計画）Do（実行）Check（評価）Act（改善）

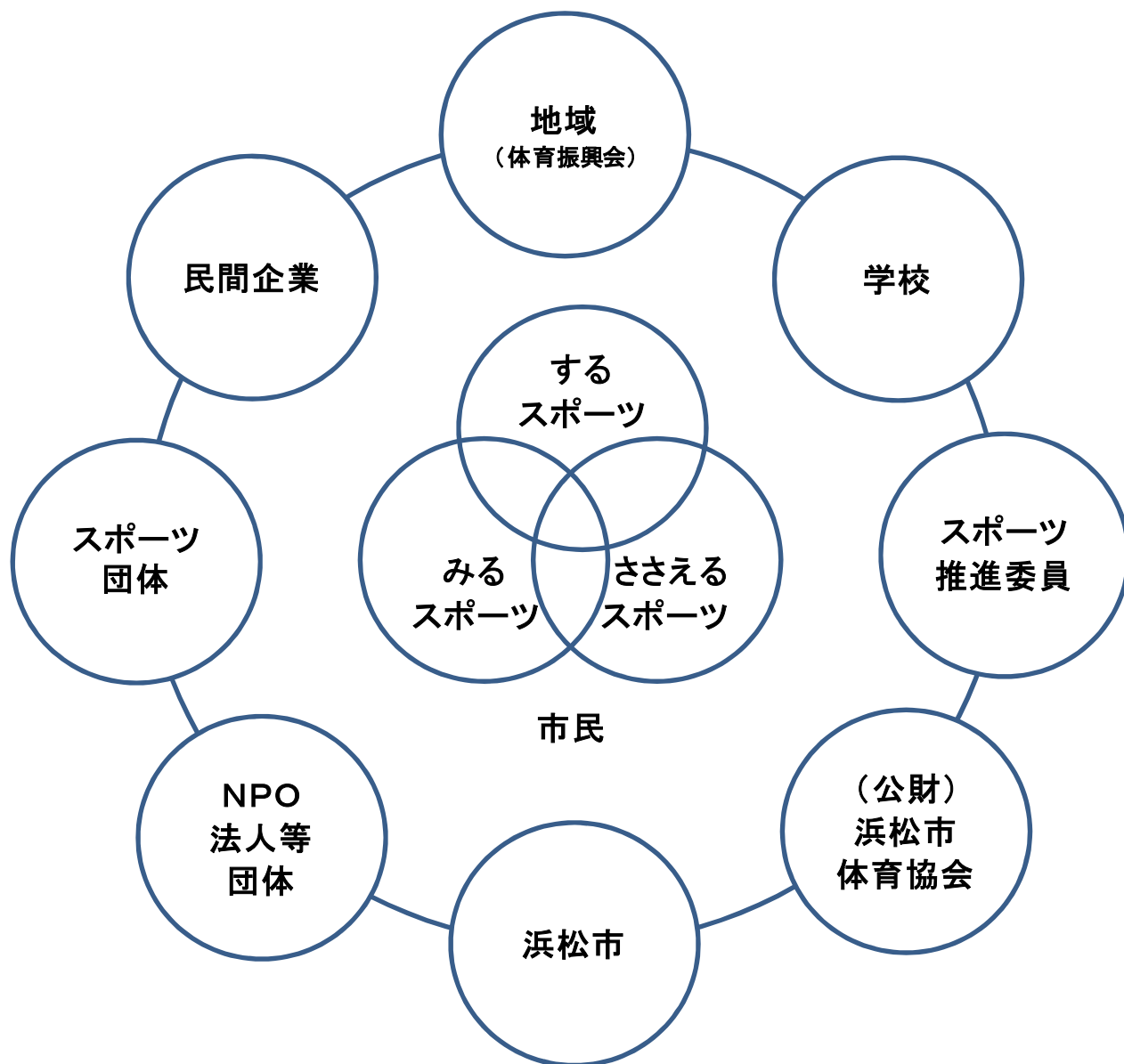
《 進捗管理の実施方法 》

進捗管理は、「浜松市スポーツ推進審議会」において実施します。

第4章「スポーツを推進するための具体的な取り組み」に紹介している施策・事業について、前年度に取り組んだ事業の実績を報告し、取り組みの内容や年度目標の達成を評価、検証した上で、課題を把握し、今後の取り組みに反映させていきます。

5 計画実現に向けた連携・協働体制

行政だけではなく、市民の皆様をはじめ、地域、学校、民間企業、NPO法人等の団体、スポーツ団体、スポーツ推進委員、(公財)浜松市体育協会とともに、それぞれの役割や責任を踏まえ、連携・協働して、計画を実現します。



第2章

浜松市スポーツ推進計画の進捗状況

【 現 状 】

平成 26 年 3 月に策定した浜松市スポーツ推進計画は、市民一人ひとりがライフスタイルの一部にスポーツを取り入れ、心身ともに健やかで、豊かな文化生活を営むことができるまち「スポーツ文化都市 浜松」の実現を目指し、以下の 3 つの視点による取り組みを評価する指標として、それぞれに数値目標を設定して、スポーツの推進に取り組みました。

(1) 「するスポーツ」

「成人の週 1 回以上のスポーツ実施率 65 % 程度を目指します」

「成人の週 3 回以上のスポーツ実施率 30 % 程度を目指します」

「スポーツ未実施者（1 年に 1 回も実施しない者）をゼロに近づけます」

* スポーツとは、ウォーキングから本格的な競技スポーツまで、あらゆる運動を含みます。

(2) 「みるスポーツ」

「成人の年 1 回以上のスポーツ観戦・応援実施率 50 % 程度を目指します」

* プロスポーツや大規模大会の観戦のほか、スポーツ少年団 や、小中高大学の部活動や地域のスポーツ活動の応援など、実際にスポーツが行われている会場へ出かけて観戦・応援することすべてを含みます。

(3) 「ささえるスポーツ」

「成人の年 1 回以上のスポーツ支援実施率 35 % 程度を目指します」

* スポーツイベントや各種競技の大会ボランティア活動のほか、スポーツ少年団や小中高大学の運動部活動、総合型地域スポーツクラブ、地域のスポーツ活動などに指導者や運営委員として、お手伝いをするなど、あらゆるスポーツ活動の支援を含みます。

「成人の公共スポーツ施設利用満足度 80 % 程度を目指します」

* 浜松市スポーツ・文化施設予約システム「まつぼっくり」 や施設使用の簡便性、利便性、あるいは施設整備の充実など、スポーツ施設利用者の満足度です。

そこで、「第 2 期浜松市スポーツ推進計画」の策定を進めるにあたり、現在の「浜松市スポーツ推進計画」の 3 つの視点による取り組みを評価する指標として掲げた数値目標について、現在の進捗状況と、見直しの方向性を確認します。

1 スポーツ実施状況（「市民意識調査」の分析）

- ・平成 29 年 10 月、無作為抽出の市民 3,000 人を対象として、実施
- ・平成 25 年 4 月に実施した市民意識調査（以下前回調査）と対比できるように内容を「浜松市スポーツ推進審議会」で協議して作成

（１）「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の関心度

ア 「するスポーツ」の関心度

内 容	割合
大いにある	24.9%
まあまあある	48.9%
ほとんどない	26.2%

「するスポーツ」への関心度は「大いにある」「まあまあある」が 73.8%と多くの方々が関心を持っています。

イ 「みるスポーツ」の関心度

内 容	割合
大いにある	25.1%
まあまあある	51.5%
ほとんどない	23.4%

「みるスポーツ」への関心度は「大いにある」「まあまあある」が 76.6%と「するスポーツ」への関心度より高い結果となっています。

ウ 「ささえるスポーツ」の関心度

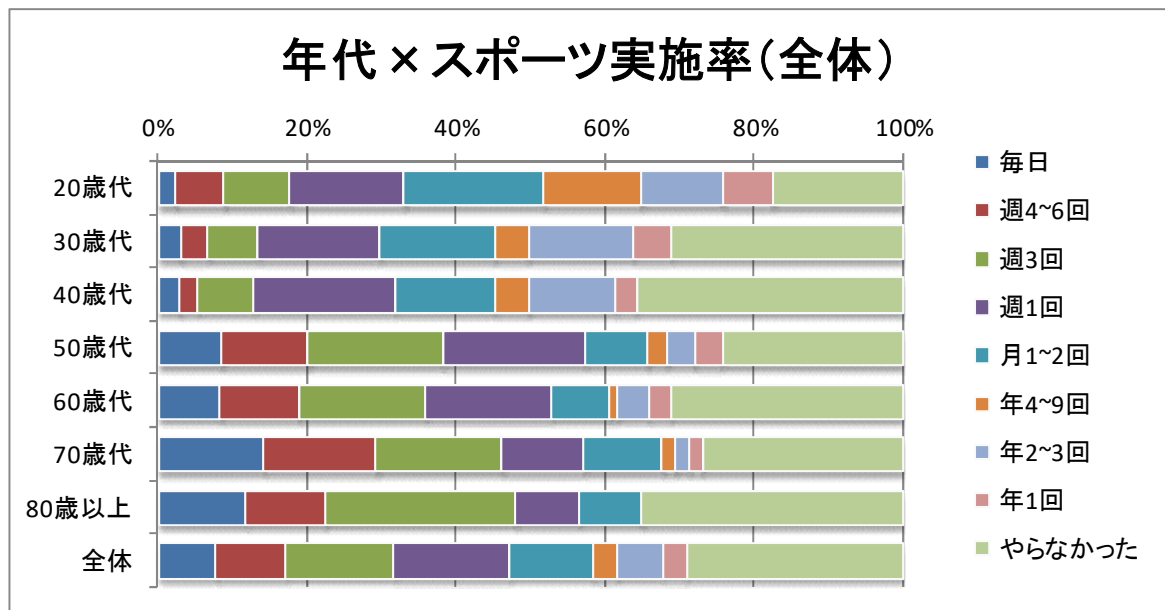
内 容	割合
大いにある	3.6%
まあまあある	25.7%
ほとんどない	70.7%

「ささえるスポーツ」への関心度は、「大いにある」「まあまあある」を合わせても 29.3%と「するスポーツ」「みるスポーツ」と比べ低い数値となっています。

(2) 「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」実施率

ア 「するスポーツ」の現状

(ア) スポーツ実施率



○成人の週1回以上のスポーツ実施率…47.2% (H25 調査 45.4%)

○成人の週3回以上のスポーツ実施率…31.6% (H25 調査 28.1%)

○スポーツ未実施者(1年に一度もスポーツをしない人) …29.1%(H25 調査 27.1%)

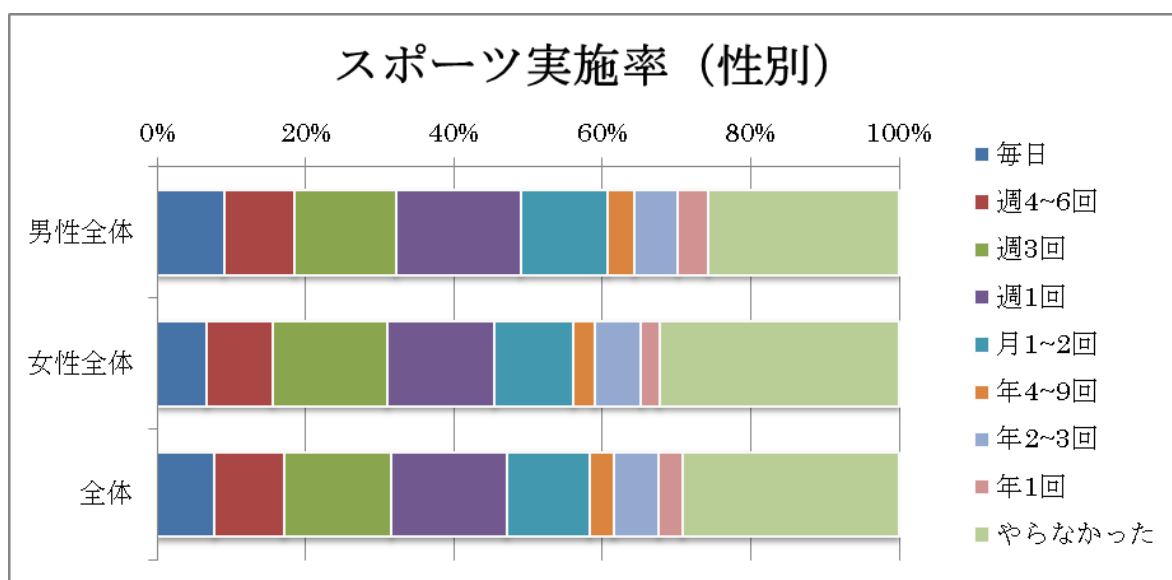
成人の週1回以上のスポーツ実施率は、前回調査を1.8ポイント上回りました。浜松市スポーツ推進計画における25事業を通して、スポーツ実施率が高まってきていると考えられます。

週1回以上では、50歳代が57.1%と最も高く、次いで70歳代、80歳代の実施率が高く、30歳代が29.6%と最も低く、20歳代から40歳代が全体平均を下回る結果となりました。

週3回以上では、前回調査28.1%を2.5ポイント上回り目標数値を越えています。週3回以上では、80歳代が47.9%と最も高く、50歳代以上では全体平均を上回る結果となりました。

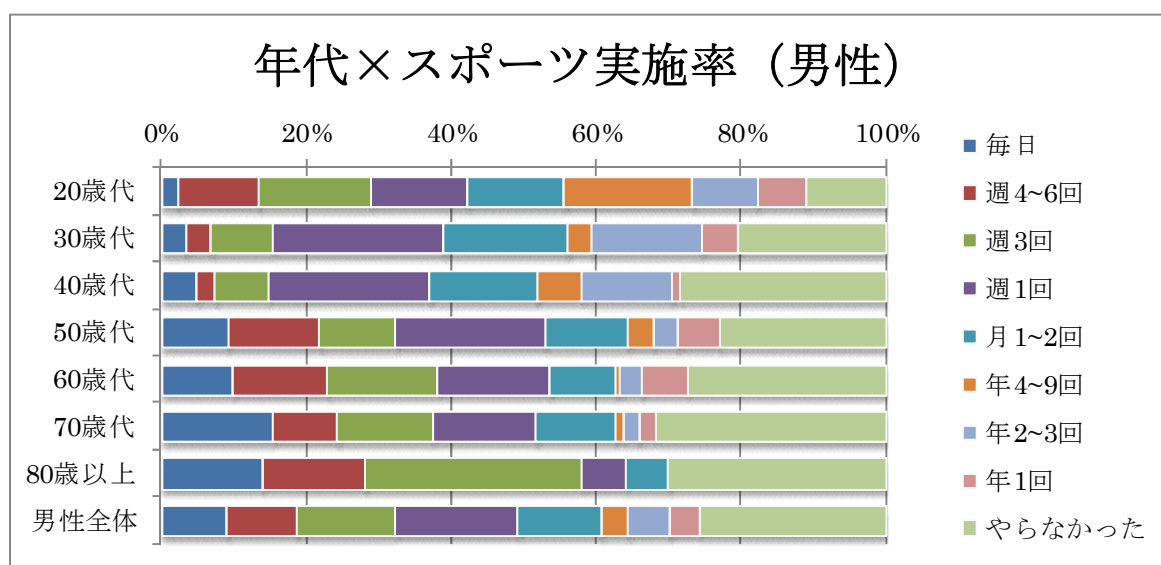
スポーツ未実施者では、前回調査27.1%を2.0ポイント上回りました。

週1回以上のスポーツ実施率の年齢別の傾向は、前回調査同様20~40歳代の実施率が低く、50歳代以上では50%以上の実施率になる傾向が見られます。



男性と女性のスポーツ実施率を比較すると、男性の週1回以上のスポーツ実施率が49.1%、女性の週1回以上のスポーツ実施率が45.5%と、ほぼ同程度の結果となりました。

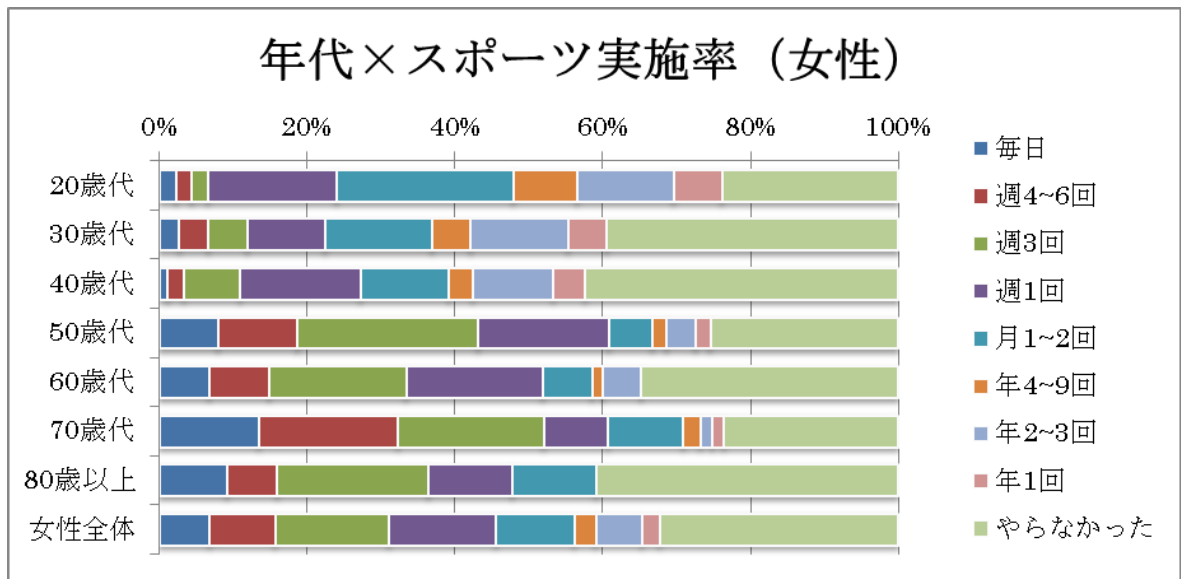
（ア）-1【男性】



○男性の週1回以上のスポーツ実施率・・・49.1%

週1回以上では、80歳代以上が64.0%と最も高く、次いで60歳代、50歳代の実施率が高く、40歳代が37.0%と最も低く、20歳代から40歳代が全体平均を下回る結果となりました。週3回以上でも、80歳代が58.0%と最も高く、50歳代以上が全体平均を上回る結果となりました。

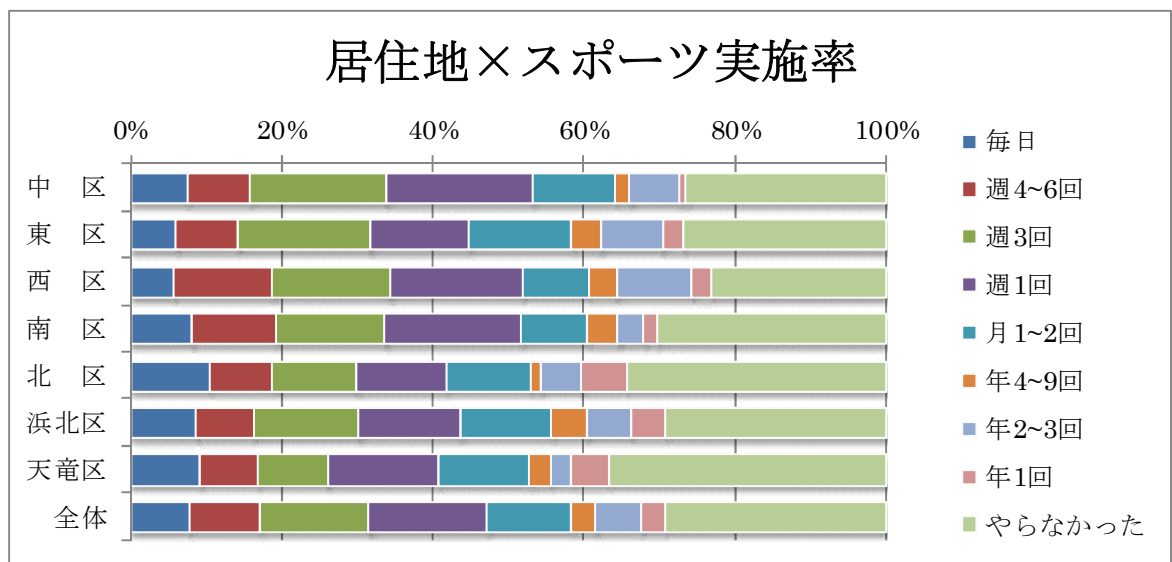
(ア) -2【女性】



○女性の週1回以上のスポーツ実施率・・・45.5%

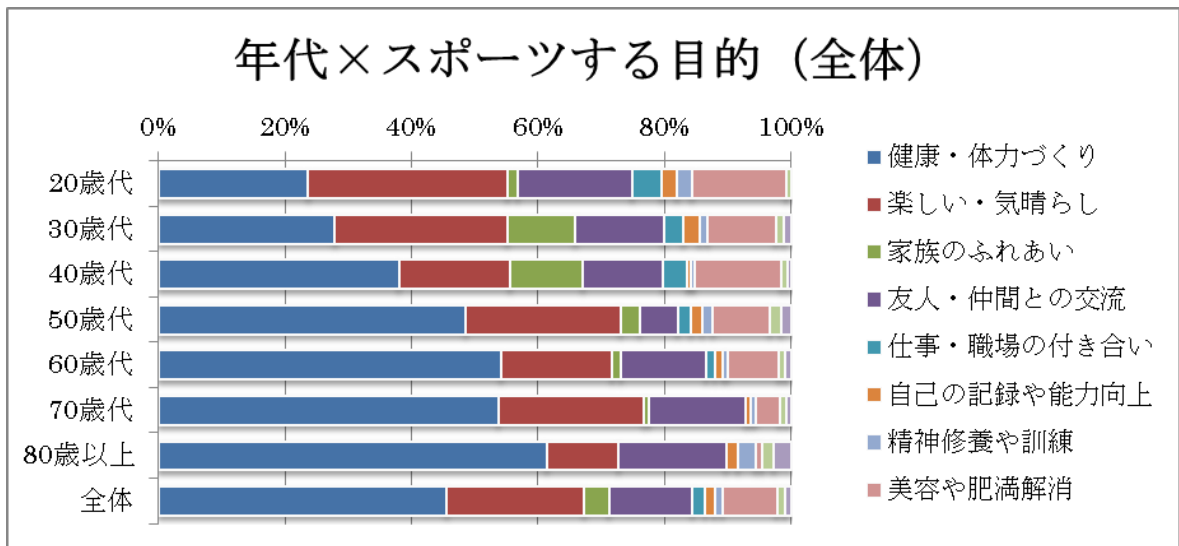
週1回以上では、50歳代が60.8%と最も高く、次いで70歳代、60歳代の方の実施率が高く、30歳代が22.4%と最も低く、次いで20歳代、40歳代の実施率が低い結果となりました。週3回以上では、70歳代が52.0%と最も高く、50歳代以上が全体平均を上回る結果となりました。

(ア) -3【居住地別】



週1回以上では、中区が53.2%と最も高く、次いで西区、南区の実施率が高く、北区と天竜区が低い実施率となりました。

(イ) スポーツをする目的

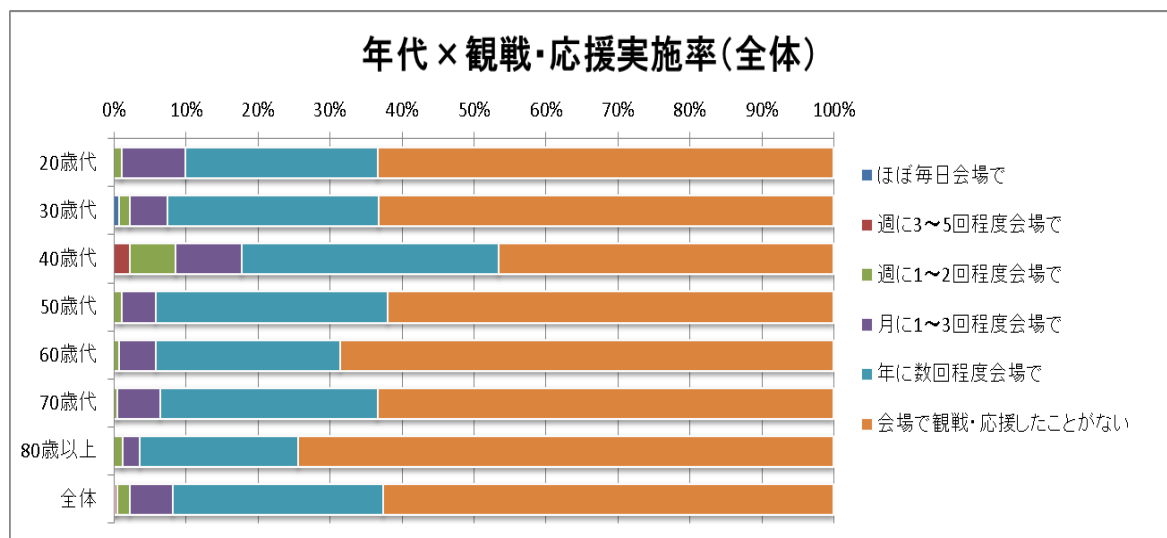


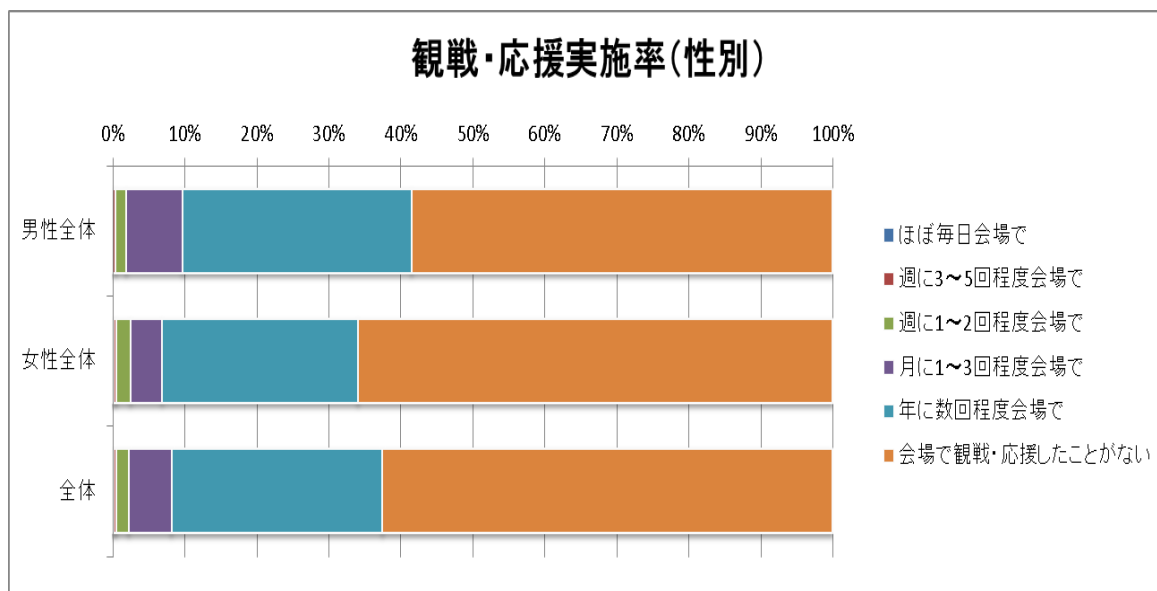
全体では20歳代は、「楽しい・気晴らし」が31.5%と最も高く、20歳代以外では、「健康・体力づくり」が最も高くなっています。男性、女性とも、「健康・体力づくり」と「楽しい・気晴らし」の2項目で全体の5割以上を占めており、女性では20歳代において、「美容や肥満解消」が、29.3%と最も高くなりました。

(ウ) 今後行ってみたいスポーツ（運動）

内 容（複数回答 上位5つ）	人数	割合
ウォーキング（ノディックウォーク、ウォークリー、散歩）	595 人	56.2%
体操（ラジオ体操、美容体操、健康体操など）	435 人	41.1%
ハイキング	229 人	21.6%
軽い水泳（水中歩行を含む）	203 人	19.2%
サイクリング	169 人	16.0%

イ 「みるスポーツ」の現状





○成人の年1回以上のスポーツ観戦・応援実施率・・・37.5%

前回調査 39.4%を 1.9 ポイント下回っています。男性の年に数回程度以上のスポーツ観戦・応援実施率が 41.5%、女性の年に数回程度以上のスポーツ観戦・応援実施率が 34.1%と女性の観戦・応援実施率が低い傾向が見られました。

小中学生の保護者世代である 40 歳代で年に数回程度以上のスポーツ観戦・応援実施率が 5 割以上となりました。

ウ 「ささえるスポーツ」の現状

(ア) 成人の年1回以上のスポーツ支援実施率 … 13.5%

前回調査 15.4%から 1.9 ポイント下回りしました。また、8 割以上の方が「特に支援活動を行ったことはない」と回答しました。ボランティア参加についても「どちらかというと参加したくない」「参加したくない」が 77%という結果でした。スポーツは、人と人、人と地域、地域と地域を結びつけるきっかけとなるもので、新しい「絆」を生み出すことができるものです。イベントや大会の運営にボランティアとして参加することで、新たなスポーツの楽しみ方を感じるきっかけづくりが必要と考えます。

スポーツ支援実施率

内 容 (複数回答)	割合
ボランティアによるスポーツの試合・大会運営のスタッフ	13.5%
スポーツの試合・大会の審判	
スポーツの専門的な指導	
専門的な指導者のお手伝い・サポート	
所属するスポーツクラブ・団体の運営	
少年団や子供会のスポーツ活動、部活動のお手伝い・サポート	
その他	
特に支援活動を行ったことがない	86.5%

今後のボランティアによるスポーツ支援活動参加について

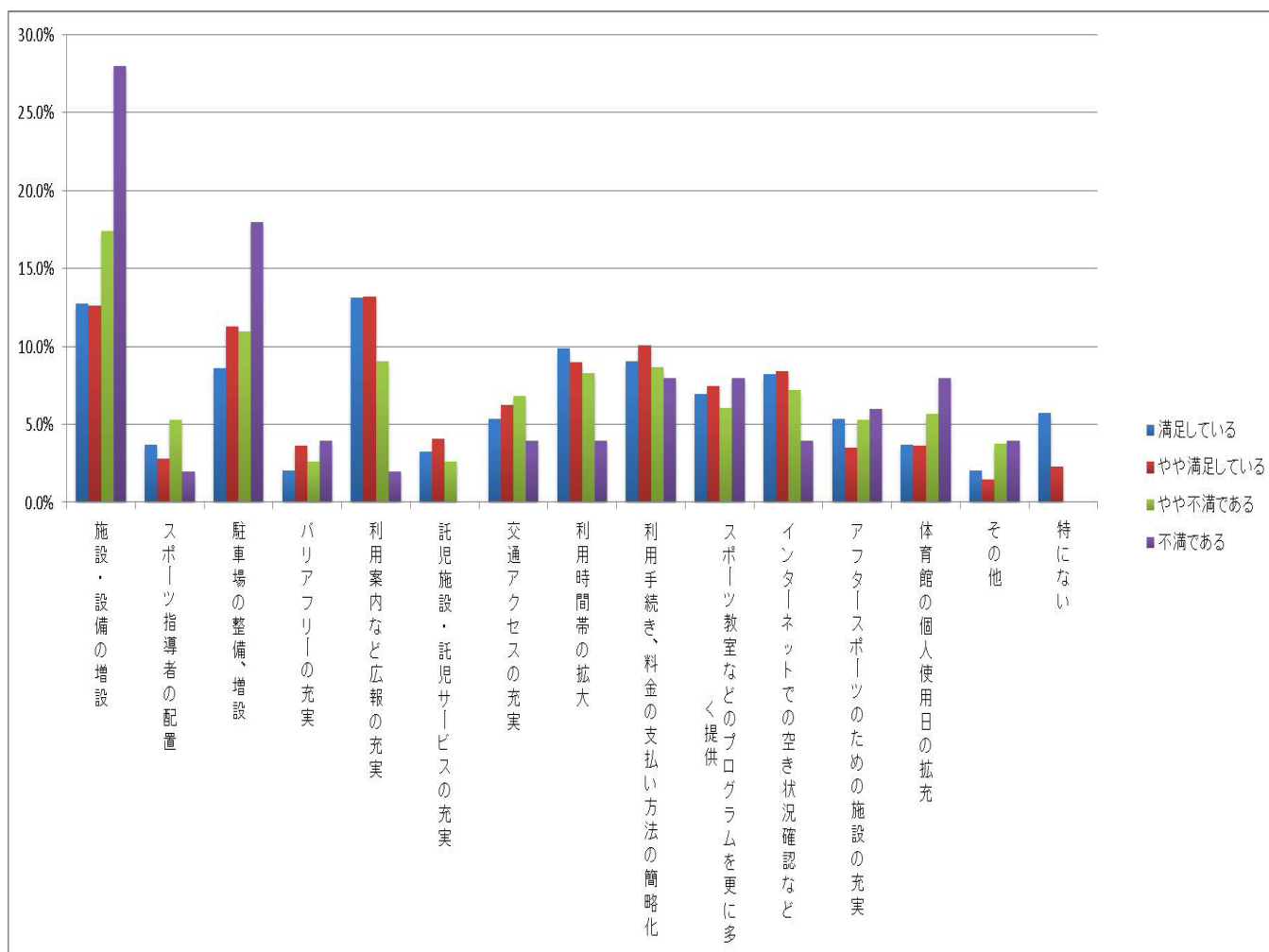
内 容	割合
参加したい	4.9%
どちらかというに参加したい	18.2%
どちらかというに参加したくない	39.6%
参加したくない	37.4%

どのようなボランティアによるスポーツ支援活動をしたいか

内 容	割合
大会競技役員（審判員等の競技関係）	10.0%
会場案内、駐車場係	25.2%
清掃	20.1%
会場準備、片付け	36.4%
その他	8.3%

（イ）公共施設の利用満足度

内 容	割合
満足している	22.6%
やや満足している	55.1%
やや不満である	18.0%
不満である	4.4%



今後、特に整備・充実（修繕や増設）してほしい施設・設備

内 容（複数回答 上位 5 施設）	割合
プール	22%
トレーニングルーム・室内アスレチックルーム	20%
ウォーキングコース、アスレチックコース、ハイキングコース等	19%
広くて多目的に使用できる運動広場	17%
野球場	11%
現状で十分である	7%

（ウ）行政に期待すること

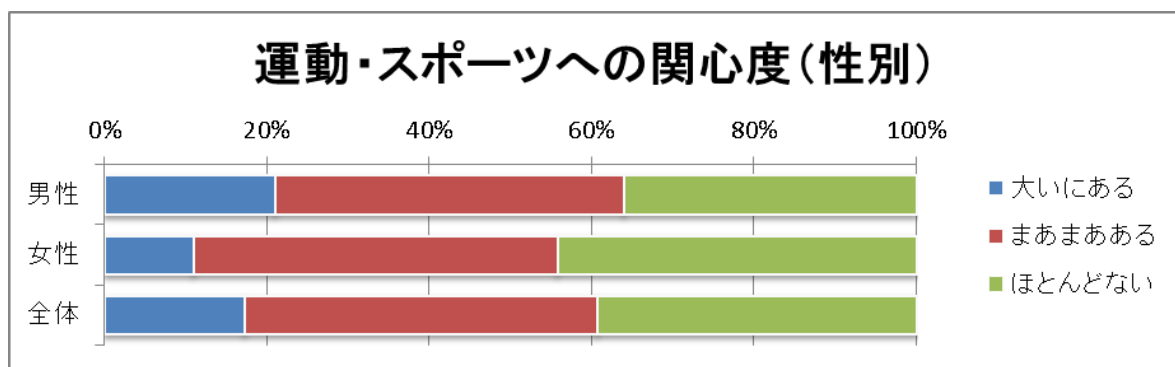
市のスポーツ振興全般で、今後の行政の役割として特に重要と思うこと

内 容（複数回答 上位 5 つ）	割合
子ども・高齢者等、年齢層にあったスポーツの開発・普及	39.7%
市営等公共スポーツ施設の充実・整備	29.6%
運動の機会の提供（各種スポーツ大会・スポーツ教室の開催等）	27.6%
スポーツに関する広報活動・情報提供	24.4%
総合型地域スポーツクラブの支援、助言・指導、育成等、住民スポーツ活動の支援	22.9%

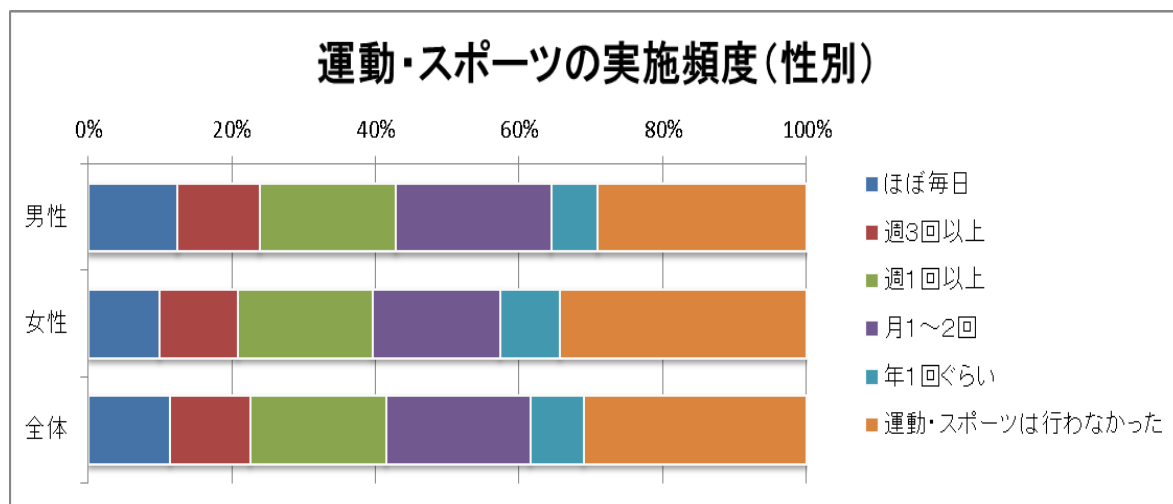
（エ）障がい者のスポーツ

運動・スポーツに関心があるか

内 容	割合
大いにある	17.2%
まあまあある	43.5%
ほとんどない	39.3%



運動・スポーツへの関心度は、「大いにある」「まあまあある」を合わせて 60.7%となりました。



週1回以上では、男性が42.8%、女性が39.6%、週3回以上では、男性が23.9%、女性が20.8%となりました。国の第2期スポーツ基本計画の目標数値（週1回40%程度、週3回以上20%程度）を上回っています。

2 スポーツ大会実施状況

(1) 主な競技スポーツ大会（国際大会、全国大会等）

ア とびうお杯全国少年少女水泳競技大会（競泳：浜松市総合水泳場）

本大会は、毎年8月に浜松市で開催され、2005年に文部科学省・総務省「スポーツ拠点づくり推進事業」に承認されたスイミングクラブ対抗の水泳大会です。大会は、地元出身の古橋廣之進・日本水泳連盟名誉会長の偉業を称え、創設されました。この大会は、日本水泳連盟の公認する唯一の学童大会となっています。



イ 全国高等学校選抜ボート大会（ボート：天竜ボート場）

本大会は、毎年3月に浜松市で開催され、「スポーツ拠点づくり推進事業」に承認されています。本大会は、自然豊かな風景に囲まれた船明ダム湖にある「浜松市天竜ボート場」を舞台に、平成元年度より全国9ブロックから選抜された選手たちによって、これまで熱戦が繰り広げられてきました。第1回から第11回大会までは、「1,500m」のコースで開催され、第12回大会からは、世界に通用する選手を育成するため、



「2,000m」のコースにリニューアルし、世界で活躍する数多くの選手を輩出しています。全国高等学校総合体育大会（インターハイ）、全日本ジュニアボート選手権（ジュニアオリンピック）、国民体育大会ボート競技と並ぶ高校ボートにおける重要な大会として位置づけられています。

ウ 浜松三ヶ日国際レディーストーナメント（テニス：東急リゾートタウン浜名湖）

本大会は、毎年10月に浜松市で開催され、国際テニス連盟公認の女子国際テニス大会です。浜松市北区の東急リゾートタウン浜名湖をメイン会場にシングルスとダブルスで国内外の若手プレイヤーが熱戦を展開しています。



エ バレーボールワールドカップ浜松大会（バレーボール：浜松アリーナ）



本大会は、国際バレーボール連盟（FIVB）が主催するバレーボールの世界大会です。特に日本においては、世界選手権、オリンピックと併せて「バレーボール3大大会」として位置づけられています。1965年に男子の第1回大会が開催され、1977年以降は4年に1度（1991年からはオリンピックの前年）開催されています。浜松市では、浜松アリーナを会場に2003年、2007年、2011年、2015年と4大会連続で開催されています。

（2）主な生涯スポーツ大会（レクリエーション大会、市民大会等）

ア 「体育の日」記念事業 浜松みんなのスポーツまつり

本事業は、市民がスポーツに親しみ、健康で明るい生活を営むためのきっかけとして、「浜松みんなのスポーツまつり」を開催しています。スポーツを楽しみながら、健康・体力づくりの普及と地域の連帯感を成就するために、市民がともに汗を流し、語り、喜び合える場を提供し、市民スポーツの一層の普及・啓発を図っています。

【主催：（公財）浜松市体育協会 開催時期 10月
平成29年度：参加者数 3,200人】



イ 浜松市民レクリエーション・スポーツ大会



本大会は、広く市民にレクリエーション・スポーツ活動を全市的な規模で実践する場を提供することにより、市民一人ひとりのレクリエーション・スポーツ活動への参加意欲を喚起し、市民のライフスタイルに応じた市民スポーツの振興を図ることを目的としています。この大会を通して地域住民の連帯感を高め、地域スポーツ活動の振興を図り、健康で明るいまちづくりに役立てています。

【主催：（公財）浜松市体育協会 開催時期 1月
平成29年度：参加者数 2,840人】

ウ 浜松シティマラソン

市民マラソンとして、市民の健康・体力づくり、地域コミュニティづくりに寄与するとともに、競技力向上を図ることを目的として開催しています。また、魅力ある大会として「するスポーツ」を充実させるとともに、自治会、学校、ボランティア等の協力により、「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の推進を図っています。スポーツ推進の3本柱を象徴する市の代表的スポーツイベントとして、定着しています。

【主催：浜松シティマラソン実行委員会 開催時期 2月

平成29年度：申込数 11,083人 参加者数 9,794人 ボランティア参加者数 1,232人】



3 スポーツ施設状況

(1) スポーツ振興課他所管施設

施設所管課	中区	東区	西区	南区	北区	浜北区	天竜区	計
スポーツ振興課 (アリーナ他)	4	2	6	6	8	12	20	58
公園管理事務所 (緑地 他)	10	7	5	3	2	2	2	31
教育施設課 (小中学校)	37	18	17	15	23	16	15	141
市民協働・地域政策課 (協働センター体育館)	6	5	6	6	2	0	2	27
その他	1	0	1	0	0	0	1	3
合 計	58	32	35	30	35	30	40	260

(2) スポーツ振興課所管施設の利用状況

単位：人						
No.	区	施設名	27年度	28年度	29年度	合計
1	中	四ツ池公園浜松球場	103,913	81,455	117,587	302,955
		四ツ池公園陸上競技場	205,316	222,637	232,667	660,620
2		花川運動公園	161,481	169,093	173,217	503,791
3		北部水泳場	138,503	147,671	142,012	428,186
4		武道館	61,555	59,847	58,736	180,138
5		浜松アリーナ	276,409	269,179	234,791	780,379
6	東	半田山グラウンド	114,718	50,801	89,211	254,730
7	西	古橋廣之進記念浜松市総合水泳場	318,362	332,383	337,723	988,468
8		馬郡運動広場	47,710	43,231	47,630	138,571
9		雄踏総合体育館	104,763	100,375	99,459	304,597
10		雄踏グラウンド	16,175	18,754	14,061	48,990
11		舞阪総合体育館	60,612	62,285	66,137	189,034
12		舞阪乙女園グラウンド	1,872	2,117	2,614	6,603
13	南	可美公園	162,406	184,445	166,513	513,364
14		沖洗運動場	2,660	2,610	2,045	7,315
15		瓜内スポーツ広場	14,741	14,449	14,889	44,079
16		大塚グラウンド	30,289	28,492	11,449	70,230
17		新橋体育センター	65,067	60,824	53,578	179,469
18		江之島アーチェリー場	955	822	827	2,604
19	北	細江総合体育センター	41,127	37,935	45,472	124,534
20		細江総合グラウンド	37,807	43,768	48,057	129,632
21		引佐総合体育館	87,331	103,781	120,993	312,105
22		奥山体育センター	3,719	7,912	6,613	18,244
23		引佐運動広場	3,163	4,880	2,955	10,998
		三ヶ日体育館 ※平成28年8月末で廃止	11,551	3,301		14,852
24		三ヶ日B&G海洋センター	55,308	51,805	68,068	175,181
25		三ヶ日弓道場	1,393	1,652	1,301	4,346
26		三ヶ日運動場	52,219	59,602	59,907	171,728
27	浜北	浜北体育館		11,976	44,099	56,075
28		浜北総合体育館	185,842	179,719	198,543	564,104
29		浜北武道館	49,369	48,183	46,886	144,438
30		浜北温水プール	97,564	104,476	108,224	310,264
31		高菌ゲートボール場	6,327	6,580	6,285	19,192
32		明神池運動公園（テニス）	41,328	42,444	43,367	127,139
		明神池運動公園（野球場）	16,429	17,095	15,284	48,808
33		天竜川運動公園	162,202	158,426	198,745	519,373
34		天竜川大平運動公園	13,809	14,072	15,138	43,019
35		御馬ヶ池緑地	32,123	31,421	28,212	91,756
36		梶池緑地	11,712	16,829	17,716	46,257
37		浜北平ロサッカー場	109,484	103,732	106,737	319,953
38		サンライフ浜北	49,632	47,395	47,620	144,647
39	天竜	天竜体育館	19,968	19,412	19,600	58,980
40		天竜B&G海洋センター	80,474	82,397	82,333	245,204
41		天竜庭球場	12,278	12,095	11,832	36,205
42		天竜武道館	8,491	8,750	9,162	26,403
43		船明運動公園野球場	27,176	27,349	26,549	81,074
		船明運動公園運動広場				
44		天竜ボート場	7,890	8,174	6,760	22,824
45		天竜上阿多古運動場	3,784	3,480	4,216	11,480
46		春野総合運動場	1,156	2,324	2,400	5,880
47		春野犬居スポーツ広場	1,788	1,538	1,556	4,882
48		春野熊切スポーツ広場	278	238	275	791
49		春野気田スポーツ広場	3,051	3,221	2,516	8,788
50		佐久間瞑想館	1,317	898	882	3,097
51		水窪総合体育館	15,264	13,480	12,482	41,226
52		水窪テニスコート	3,420	2,725	2,498	8,643
53		水窪グラウンド	7,429	5,847	5,787	19,063
54		水窪小畑プール	1,399	1,286	995	3,680
55		水窪長尾プール	436	371	243	1,050
56		龍山健康増進センター	1,383	1,068	1,454	3,905
57		龍山総合運動場	3,307	4,240	4,336	11,883
58		龍山雲折プール	149	225	240	614
		合 計	3,157,384	3,147,572	3,291,484	9,596,440

4 子どもの体力

(1) 静岡県（浜松市含め）の子どもの体力の現状

スポーツ庁では、子どもの体力づくりや健康の保持増進を目的として、「体力・運動能力調査」を実施し、児童生徒の体力・運動能力の状況を明らかにしています。近年の調査結果では、新体力テスト開始（平成 11 年）から 13 年目にして低下傾向に歯止めがかかり、横ばい、または、向上傾向が見られるようになりました。しかし、体力水準の高かった、昭和 60 年代と比較すると依然低い数値となります。

また、小学 5 年生、中学 2 年生を対象とした「全国体力、運動能力、運動習慣等調査」の結果では、平成 27 年度の小学 5 年生男子のソフトボール投げは、静岡県が全国で最も低い記録でした。しかし、学校・教育委員会での体力向上における取り組みを強化し、平成 28 年度には、最下位を脱出しています。

(2) 新体力テストの結果による浜松市の子どもの体力の現状

ア 小学校

平成 29 年度に実施した新体力テストでは、男女計 96 種目（1 学年 8 種目×6 学年×男女）のうち、80 種目（83.3%）が、全国平均値を上回り、概ね良好です。しかし、例年課題となっている「ボール投げ」は、最下位は脱出しているものの、男子の 4 年生～6 年生は全国平均値を下回っています。一方、女子は、すべての学年で、全国平均値を上回っています。

「50m走」については、男子の 2・3 年生と 5・6 年生、女子の 4・5 年生が全国平均値を下回っています。全国平均を下回っている 16 種目のうち 12 種目が男子種目であり、男子の体力低下が課題と言えます。

イ 中学校

男女計 48 種目（1 学年 8 種目×3 学年×男女）のうち、38 種目（79.1%）が、全国平均値を上回り、概ね良好な状態を維持していると考えられます。しかし、男子の 1・2 年生の「ハンドボール投げ」、3 年生の「50m走」、及び 2・3 年生「握力」が全国平均値を下回っています。男子の「握力」は、一昨年から引き続き、全国平均値を下回っている状況です。女子においては、2・3 年生の「持久走」及び 3 年生の「50m走」が、全国平均値を下回っており、走力の低下が課題と言えます。全国平均を下回っている種目の 7 割が男子種目であり、中学校でも小学校と同様に男子の体力低下が課題となっています。

浜松市の中学校における体力水準の維持は、運動部活動加入率が約 7 割程度を維持していることも大きな理由と考えられます。一方で、運動部や学校外のスポーツクラブ等に参加していない生徒の体力向上のための方策については課題と考えます。

学校での体育・保健体育の授業や体育的行事等のさらなる充実を図り、児童生徒が運動する機会をできる限り多く確保することに努める必要があり、特に、男子の体力向上を意識した取組に工夫が求められます。

【男子】平成29年度新体力テスト平均記録

※シャトルランは、数値が高いほど良い記録、持久走は、数値が低いほど良い記録
 ※ボール投げは、小はソフトボール投げ、中はハンドボール投げ

学年	種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	小:シャトルラン 中:持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
小1年	全 国	9.44	11.64	26.26	28.13	19.22	11.51	114.36	8.67
	静岡県	9.86	12.48	25.97	28.75	22.86	11.32	117.15	9.11
	浜松市	◎9.89	◎12.53	◎26.28	◎28.76	◎23.10	◎11.33	◎117.39	◎9.18
小2年	全 国	11.22	14.56	27.85	32.20	28.69	10.65	126.34	12.26
	静岡県	11.39	14.73	27.50	32.76	31.52	10.60	128.09	12.29
	浜松市	◎11.45	◎14.97	▲27.48	◎32.89	◎31.66	▲10.58	◎128.36	◎12.35
小3年	全 国	12.81	16.48	29.28	36.26	38.52	10.01	136.25	15.89
	静岡県	13.05	16.53	29.25	35.28	38.12	10.07	137.15	15.62
	浜松市	◎13.27	◎17.24	◎29.64	◎36.62	◎39.07	▲10.04	◎138.10	◎16.04
小4年	全 国	14.94	18.71	30.34	39.66	48.00	9.61	145.26	20.32
	静岡県	14.76	18.34	31.09	39.70	46.83	9.65	146.22	19.08
	浜松市	◎14.95	◎18.86	◎31.69	◎40.84	▲47.03	◎9.60	◎146.23	▲19.46
小5年	全 国	16.96	20.81	33.18	43.98	57.48	9.21	153.72	23.54
	静岡県	16.86	20.41	33.49	43.63	55.39	9.39	154.92	22.27
	浜松市	◎17.30	◎20.85	◎34.52	◎44.68	▲55.69	▲9.29	◎154.99	▲22.63
小6年	全 国	19.76	22.66	36.03	46.70	65.50	8.79	166.55	27.21
	静岡県	19.90	22.12	35.33	46.60	63.73	8.87	166.30	25.61
	浜松市	◎20.41	▲22.49	◎36.37	◎47.38	▲64.69	▲8.83	◎167.67	▲26.10
中1年	全 国	24.37	24.64	39.20	50.32	413.25	8.42	182.01	18.64
	静岡県	25.19	25.52	41.64	51.12	406.23	8.34	187.66	19.00
	浜松市	◎24.86	◎25.56	◎41.87	◎51.49	◎404.39	◎8.37	◎186.04	▲18.39
中2年	全 国	30.00	28.35	43.57	53.36	372.54	7.82	199.73	21.55
	静岡県	30.44	28.93	45.88	54.51	377.83	7.79	203.79	21.96
	浜松市	▲29.91	◎28.88	◎45.05	◎54.58	▲373.17	◎7.81	◎200.53	▲21.26
中3年	全 国	35.12	30.33	47.48	56.54	362.84	7.45	213.34	24.01
	静岡県	35.41	31.72	51.18	57.87	367.08	7.42	218.55	24.87
	浜松市	▲34.73	◎31.72	◎51.29	◎58.11	▲365.56	▲7.48	◎216.73	◎24.48

※ ◎は全国平均値を上回っている種目、▲は全国平均値を下回っている種目

【女子】平成29年度新体力テスト平均記録

※シャトルランは、数値が高いほど良い記録、持久走は、数値が低いほど良い記録
 ※ボール投げは、小はソフトボール投げ、中はハンドボール投げ


学年	種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	小:シャトルラン 中:持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
小1年	全 国	8.81	11.25	28.23	27.51	16.37	11.76	107.41	5.80
	静岡県	9.30	11.81	28.57	27.57	18.60	11.64	110.00	6.18
	浜松市	◎9.31	◎11.74	◎28.98	◎27.55	◎18.51	◎11.66	◎109.92	◎6.21
小2年	全 国	10.40	13.87	30.81	31.15	22.73	10.99	117.82	7.58
	静岡県	10.84	14.09	30.44	31.43	24.46	10.90	120.65	8.15
	浜松市	◎10.83	◎14.33	▲30.58	◎31.54	◎24.61	◎10.90	◎120.60	◎8.08
小3年	全 国	12.03	15.98	32.47	35.03	29.23	10.38	127.59	9.83
	静岡県	12.34	15.54	32.52	33.71	29.77	10.36	130.33	10.18
	浜松市	◎12.53	◎16.03	◎33.20	◎35.27	◎30.25	◎10.37	◎130.16	◎10.21
小4年	全 国	14.04	17.83	34.13	37.95	38.49	9.88	138.89	12.06
	静岡県	14.22	17.42	34.83	37.90	37.27	9.91	140.00	12.44
	浜松市	◎14.47	◎18.13	◎35.50	◎38.71	▲37.21	▲9.91	◎139.49	◎12.45
小5年	全 国	16.41	19.32	36.93	41.95	45.59	9.45	148.01	14.43
	静岡県	16.66	19.27	37.96	41.91	45.52	9.60	149.33	14.72
	浜松市	◎17.10	◎19.71	◎39.09	◎42.79	◎46.26	▲9.53	◎149.08	◎14.61
小6年	全 国	19.70	20.54	40.12	43.88	50.47	9.16	156.41	16.47
	静岡県	19.46	20.22	40.49	43.89	51.04	9.15	157.52	16.76
	浜松市	◎19.79	◎20.69	◎41.36	◎44.67	◎51.62	◎9.14	◎158.42	◎16.68
中1年	全 国	22.01	21.30	43.51	46.02	289.26	8.96	166.26	12.17
	静岡県	22.49	22.52	45.60	47.37	285.28	8.86	171.55	12.77
	浜松市	◎22.61	◎22.95	◎46.27	◎47.58	◎289.21	◎8.93	◎170.29	◎12.53
中2年	全 国	24.44	24.34	46.22	47.88	279.35	8.66	172.26	13.65
	静岡県	24.74	24.96	48.87	48.83	280.32	8.62	176.97	14.03
	浜松市	◎24.55	◎25.41	◎48.84	◎49.25	▲281.61	◎8.65	◎174.75	◎13.69
中3年	全 国	25.74	25.06	47.75	48.75	279.46	8.62	174.94	14.54
	静岡県	26.15	26.13	51.92	49.98	281.83	8.58	179.74	15.02
	浜松市	◎26.10	◎26.25	◎52.07	◎49.86	▲282.55	▲8.64	◎178.33	◎15.02

※ ◎は全国平均値を上回っている種目、▲は全国平均値を下回っている種目


5 プロスポーツ（トップスポーツ）チーム等の状況

（１）プロスポーツチーム（※ 各チームホームページより出展）


ア 三遠ネオフェニックス

チーム名	<p>三遠ネオフェニックス</p> <p>ヨーロッパの伝承にも登場する永遠の時を生きるという伝説上の鳥”不死鳥”。この『フェニックス』には「決してあきらめず勝利に向かって飛び続ける、不死鳥のように…」との願いが込められている。また、『ネオフェニックス』の「ネオ」はギリシャ語で新しいを意味し、これまでの不死鳥は新たに再生を遂げ、バスケットボール界の新たな時代を力強く羽ばたいていくという決意が表れている。このチームを通じて本拠地、『三遠』という愛知県東三河地域と静岡県遠州地域の架け橋となり、共にスポーツを通じて成長し合うことを目指す象徴ともなる。</p>
所在地	<p>【豊川本社】</p> <p>〒441-1231 愛知県豊川市一宮町下新切 45-47</p> <p>【浜松オフィス】</p> <p>〒430-0933 静岡県浜松市中区鍛冶町 100 番地の 1</p> <p>ザザシティ浜松 中央館 4 階 402-B</p>
活動理念	<p>「三遠地域が笑顔で活力ある街に」</p> <p>○三遠ネオフェニックスが地域の懸け橋となる</p> <p>フェニックスはスポーツを通じて、地域の皆さまに、その本質である楽しさ・情熱・感動・目標・夢を与え、かつ日本でも屈指の経済圏として、ステークホルダーとの関係をより深く構築することで、この地域が笑顔で活力のある街となり、県境および地域間の交流をさらに深めるための懸け橋となります。</p> <p>○プロスポーツクラブとしての誇りを持ち、人間力向上に努め、子どもたちの成長に貢献します。</p> <p>三遠ネオフェニックスは、オンコートではチームワークやハードワーク、技術・体力で地域に夢と感動を与え、オフコートではプロスポーツ選手として、また社会の一員として、地域イベントや行事に積極的に参加することで人間力向上に努めます。</p> <p>また、子どもたちが夢や目標を持つ機会をつくり、チャレンジする素晴らしさや継続することの大切さを伝えます。</p>
ロゴマーク	

イ アグレミーナ浜松

チーム名	アグレミーナ浜松 「アグレミーナ」はスペイン語の「アグレッシボオ(攻撃的)」+「レイ(王様)」+「ミーナ(たくさんの宝物)」の3語を足してできた造語である。
所在地	〒435-0014 静岡県浜松市東区大蒲町 86 番地の 24
活動理念	クラブ活動理念 「地域活性化集団として、地域に根付いた活動を」
ロゴマーク	

ウ ブレス浜松

チーム名	ブレス浜松 ブレス (Breath) には「呼吸、風のそよぎ、生命力、注ぐ」などの意味があります。浜松に、静岡県に、日本に、世界に、自分たちの活動を通して健康、元気、生命力を注ぐ存在になりたいという願いを込めて名付けました。
所在地	〒430-0811 静岡県浜松市中区名塚町 41-1-C
活動理念	日本のトップ・プレミアリーグへ昇格、そして優勝することが目標です。今後はさまざまな企業や団体からのサポートを募りつつ、自らも活動を支えられるように自立できる部分を拡張、地域のスポーツ発展に貢献し、元気な静岡県を全国へ、世界へ発信していきたいと考えます。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域との様々な触れ合い・交流活動を通じて浜松と静岡県の活性化・発展へ寄与します(地域貢献) 2. スポーツ普及活動を通して、浜松と静岡県の皆さんの心と体の健康増進に貢献します(健康増進) 3. スポーツマンシップの啓発活動を通して、浜松と静岡県へ貢献する人財を育成します(人財育成) 4. 地域の架け橋として、市民・行政・企業など、浜松と静岡県の皆さんをつなぐ役割を果たします(ハブとしての役割) 5. 「やってみよう」「やってやろうじゃないか」という新しい事に果敢にチャレンジする精神、「やらまいか」の精神に基づいて、浜松と静岡県の皆さんと一緒に歩んでいきます(「やらまいか」の精神：地域と共に)
ロゴマーク	

(2) プロ以外のトップスポーツチームの状況

ア スズキ浜松アスリートクラブ

スズキ浜松アスリートクラブは、オリンピックや世界陸上競技選手権大会など国際大会で活躍できる選手の育成を目指して活動しています。

トラック&フィールド競技種目の選手は、(公財)日本陸上競技連盟が主催する日本陸上競技選手権大会や日本グランプリシリーズに出場し、マラソン種目の選手は国内主要マラソンや各地のロードレースに出場しています。近年では、2004年のアテネオリンピックから2016年のリオデジャネイロオリンピックまで4大会連続で日本代表選手を輩出しています。

今後はオリンピックや世界陸上競技選手権大会でのメダル獲得を目指して選手の育成に取り組んでいきます。また、オリンピック選手を中心に、浜松市をはじめとする県内の小中学生に陸上競技の楽しさを伝えるとともに、競技生活で得た経験を生かし、子どもたちの夢や希望を育む活動をしていきます。



イ ヤマハ硬式野球部

ヤマハ硬式野球部は、日本野球連盟に加盟している社会人野球の静岡県では唯一の企業チームです。1958 年「日本楽器硬式野球部」として創部し、60 年以上の歴史を持ち、都市対抗野球大会では、1972 年、1987 年、1990 年と 3 度の優勝経験があります。2016 年社会人野球日本選手権大会で初優勝を果たし、社会人野球の名門として現在も活躍しています。



ウ 本田技研工業フットボールクラブ（ホンダFC）

本田技研工業フットボールクラブ（呼称：Honda FC）は、日本フットボールリーグ（JFL）に所属する社会人サッカークラブ（実業団）です。1971 年本田技研工業の創業地である浜松製作所に置かれた浜友会サッカー部を母体として創部しました。トップチーム所属の選手・指導者は、プロ契約の者を除き、試合のない日の午前中は、ホンダの正社員として勤務、午後からはフットボーラーという生活を送っています。実業団ながら地域密着型クラブを標榜し、下部組織も有しています。ホームスタジアムは、北区都田町にあるホンダ都田サッカー場で、JFL 以外のクラブも含め日本国内で数少ないクラブ自身が所有する自前のスタジアムです。1999 年の JFL 参入以来、優勝 6 回、2 位 4 回の成績を残し、JFL の名門として現在も活躍しています。



6 支援体制

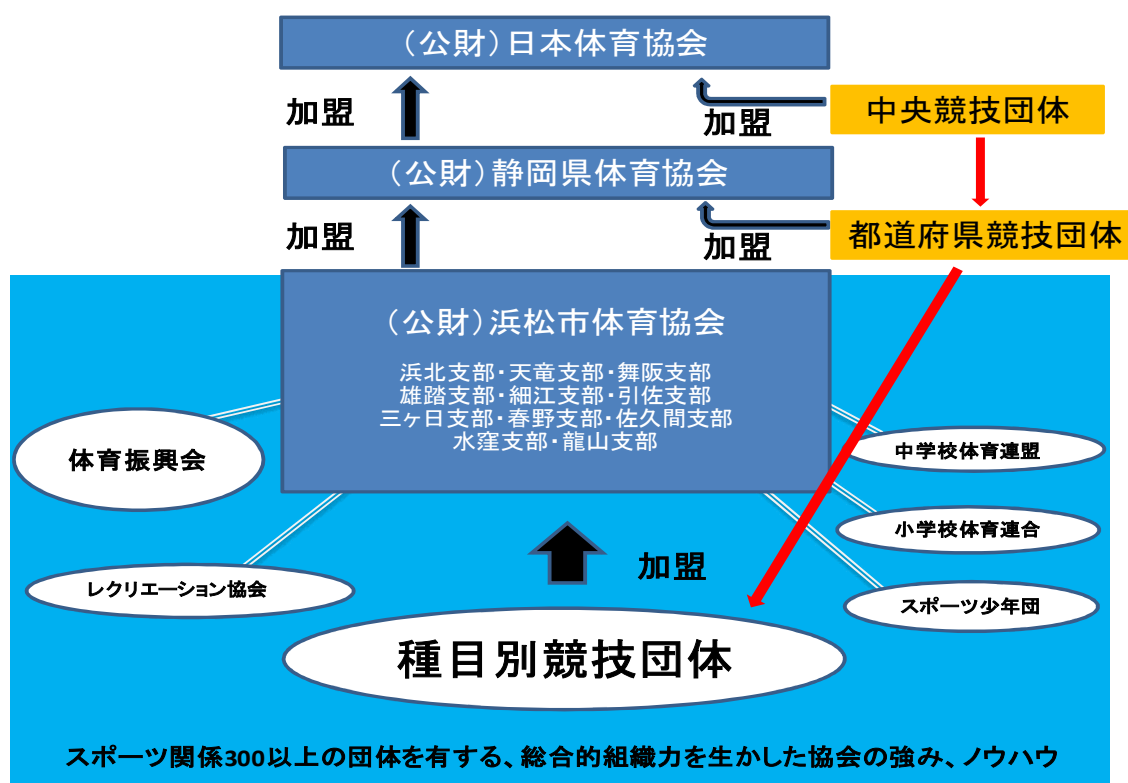
(1) 浜松市スポーツ推進審議会

スポーツ基本法第 31 条に「地方スポーツ推進計画その他のスポーツ推進に関する重要事項を調査審議させるため…(中略)…置くことができる」と規定された機関で、浜松市スポーツ推進審議会条例に基づき設置されています。委員は 10 人以内で組織され、学識経験を有する者のうちから教育委員会が市長の意見を聴いて委嘱しています。

(2) 公益財団法人浜松市体育協会

(公財) 浜松市体育協会は、合併前の旧市町村に支部を置き、総合的組織力を生かして市民に密着したスポーツ活動を展開しています。また、校区内で軽スポーツ大会やレクリエーション活動などに取り組んでいる「体育振興会」(昭和 55 年、生涯スポーツの基盤を地域に置くため旧浜松市内の各小学校区に、地域のスポーツ団体、自治会関係者、体育指導委員(現スポーツ推進委員)を中心に立ち上げた団体)をはじめ、種目ごとの団体を統括する連盟や協会などの「種目別競技団体」、子どもの健全育成を目的として活動する「スポーツ少年団」、レクリエーションの普及活動を推進する「レクリエーション協会」、小中学生の体育活動を統括する「小学校体育連合」「中学校体育連盟」など、スポーツ関係 300 余団体を統括して、スポーツ振興を推進しています。生涯スポーツ社会[\[1\]](#)の実現において、地域スポーツ活動が不可欠であり、なお一層こうした団体との連携に努めます。

体育協会構成団体…競技団体、体育振興会 他



（３）浜松市スポーツ推進委員

スポーツ基本法第 32 条に基づき、教育委員会から委嘱される委員で、非常勤の公務員として活動をしています。平成 30 年 4 月現在 249 名の委員が活動し、スポーツイベントの企画・調整、各種軽スポーツや競技スポーツの指導、浜松シティマラソンの走路安全員など、本市の主要な各種イベントにおける運営補助を行うなど、重要な役割を担っています。また、浜松市スポーツ推進委員連絡協議会を組織して、各種研修を実施するとともに、全国、東海四県、県レベルの各種研修に委員を派遣し、資質の向上に努めています。今後も障がい者スポーツへの支援や地域のコーディネーターとして対応していくための研修に努めてまいります。



【平成 30 年度浜松市スポーツ推進委員連絡協議会研修会（ノルディックウォーキング）】



【平成 29 年度浜松市民レクリエーション・スポーツ大会（障がい者スポーツ体験）】

(4) 総合型地域スポーツクラブ

住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境を整備するという考えのもと、国が「総合型地域スポーツクラブ」の設立を唱え始め、20年以上が過ぎました。

本市では、平成30年4月末現在で、10団体の「総合型地域スポーツクラブ」が活動しています。

今後も、地域の実情に応じた「総合型地域スポーツクラブ」の設立・運営を支援していきます。

◎浜松市内で活動する「総合型地域スポーツクラブ」

NO	クラブ名	設立	主な取り組み
1	北浜 スポーツクラブ	H8.10.1	野球、ソフトバレー、インディアカ サッカー、ファミリーバドミントン テーパーボール
2	亀玉 スポーツクラブ	H11.6.1	テニス、ダンス、ファミリーバドミントン 卓球、ミニバスケットボール、インディアカ
3	北部 スポーツクラブ	H12.3.1	バレーボール、インディアカ、体操、ヨガ ボーリング、卓球、ビーチバレー ドッジボール、バスケットボール
4	湖東スポーツ・ 文化クラブ	H14.4.18	サッカー、バレーボール、ソフトボール バスケットボール、陸上競技、ソフトテニス 茶道、クラフト倶楽部
5	北浜東部 スポーツクラブ	H14.6.1	ソフトバレーボール、バレーボール、卓球 健康体操
6	浜名 スポーツクラブ	H14.7.1	健康体操、空手、バレーボール ソフトバレーボール、インディアカ
7	新津総合クラブ	H15.5.12	野球、サッカー、ソフトテニス、陸上競技 バレーボール、バスケットボール
8	みさくぼ スポーツクラブ	H18.3.25	野球、バレーボール、射撃、ソフトボール バスケットボール、弓道、綱引き、ヨガ グラウンド・ゴルフ、サッカー
9	天竜楽漕クラブ	H19.2.18	ボート、カヌー、トレッキング
10	龍西 スポーツクラブ	H24.4.1	スポーツ吹矢、ファミリーバドミントン ソフトボール、バレーボール グラウンド・ゴルフ

※ 平成30年4月1日現在

【 課 題 】

1 【するスポーツ】 人を元気にするスポーツ！！

(1) スポーツ実施率

「浜松市スポーツ（運動）に関する市民意識調査[PDF](#)」によると、成人の週 1 回以上のスポーツ実施率が 47.2%、スポーツ未実施者（1 年に 1 回も実施しない者）が 29.1%という結果が出ています。調査結果では、ウォーキングや体操など場所や時間等を選ばず、比較的負荷のかからないスポーツを好む傾向が見られることから、年齢や性別、障がいの有無を問わず、誰もがそれぞれのライフスタイルに応じて取り組むことができる多様なスポーツ施策が求められていると考えます。

(2) ジュニア選手育成

子どものスポーツ離れに歯止めをかけるとともに、選手層の拡大と将来に向けた体力、技術力などの向上が求められます。特に平成 30 年 4 月に「浜松市立中学校部活動運営方針」が定められたことから、新たな育成環境が求められます。

2 【みるスポーツ】 まちを元気にするスポーツ！！

ラグビーワールドカップ 2019、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会などのスポーツイベントの成功と、大型競技イベント終了後を見据えた、新たなスポーツコミッション[PDF](#)の戦略形成が重要となります。

今後、開催される各競技の世界大会などをスポーツコミッションのチャンスと捉え、大会や合宿の誘致を図っていく必要があります。

誘致成功のために、浜松の交通利便性を活かし、競技施設の優位性、付加価値を高め、全国、世界へと周知する情報発信力を強化することが大切です。

3 【ささえるスポーツ】 活力を生みだすスポーツ！！

市民一人ひとりがライフスタイルの一部にスポーツを取り入れ、スポーツの力を活かしながら、人生を豊かにすることができるまちの実現には、官民が協働する連携づくりや運営スタッフといったボランティア育成など、迎え入れる体制等の準備が重要となります。

また、老朽化の目安とされる築 40 年を経過する施設が今後増加していきます。平成 29 年 9 月策定の「浜松市公共建築物長寿命化指針」において、施設の目標使用年数を 80 年とし、新設から 20 年目、60 年目で小規模改修、40 年目で大規模改修を実施するとしています。

目標使用年数の実現のためには、適切な点検の実施、改修や劣化状況を踏まえた更新周期のもと、適切な予防保全・長寿命化が必要になります。改修時期が集中しないよう中長期的な計画を作成し、改修を実施することで経費の平準化を図る視点も重要となります。

第3章

スポーツ推進のビジョン

1 スポーツ推進の意義

スポーツは、人生をより豊かにし、充実したものとするとともに、人間の身体的・精神的な欲求に応える文化です。スポーツを推進することは、子どもの心身の健全育成のほか、体力の向上、生活習慣病予防による医療・介護費の削減などの効果があります。

少子高齢化の進展や、生活が便利になることなどにより体を動かす機会が減少している現代社会において、生涯にわたりスポーツに親しむことは、身体を動かすという人間の本質的な欲求にこたえとともに、爽快感、達成感等の精神的充実や楽しさ、喜びをもたらします。

また、スポーツを通じたまちづくりに取り組んでいる都市もあるなど、スポーツには、地域コミュニティの活性化や市民活力の創出、地域経済の活性化等の効果も期待されています。

特に本市においては、スポーツを通じて都市としての求心力を高めるという観点も重要です。

2 スポーツ推進の基本目標

本市では、「スポーツ文化都市 浜松」の実現のため、国のスポーツ基本計画同様、「成人の週1回以上のスポーツ実施率65%程度とすること」を目標に取り組みます。

また、3つの視点による取り組みを評価する指標として、それぞれに目標を設定します。

◎国の数値目標

国は年齢、性別、健康状態を問わず、全ての人々がスポーツを行うようにするとともに、既にスポーツを行っている人についても実施頻度の向上を目指し、ライフステージに応じたスポーツ活動を推進しています。

- ・成人の週1回以上のスポーツ実施率65%程度（障がい者は40%程度）
- ・成人の週3回以上のスポーツ実施率30%程度（障がい者は20%程度）

（1）【するスポーツ】 人を元気にするスポーツ！！

「成人の週1回以上のスポーツ実施率65%程度を目指します」（障がい者は40%程度）

「成人の週3回以上のスポーツ実施率30%程度を目指します」（障がい者は20%程度）

「スポーツ未実施者（1年に1回も実施しない者）をゼロに近づけます」

＊スポーツとは、ウォーキングから本格的な競技スポーツまで、あらゆる運動を含みます。

(2)【みるスポーツ】 まちを元気にするスポーツ！！

「成人の年1回以上のスポーツ観戦・応援実施率50%程度を目指します」

＊プロスポーツや大規模大会の観戦のほか、スポーツ少年団 や、小中高大学の部活動や地域のスポーツ活動の応援など、実際にスポーツが行われている会場へ出かけて観戦・応援することすべてを含みます。

(3)【ささえるスポーツ】 活力を生みだすスポーツ！！

「成人の年1回以上のスポーツ支援実施率35%程度を目指します」

＊スポーツイベントや各種競技の大会ボランティア活動のほか、スポーツ少年団や小中高大学の運動部活動、総合型地域スポーツクラブ、地域のスポーツ活動などに指導者や運営委員として、お手伝いをするなど、あらゆるスポーツ活動の支援を含みます。

「成人の公共スポーツ施設利用満足度80%程度を目指します」

＊浜松市スポーツ・文化施設予約システム「まっぼっくり」や施設使用の簡便性、利便性、あるいは施設整備の充実など、スポーツ施設利用者の満足度です。

3 浜松市スポーツ推進のスローガン

いち いち いち
「1・1・1運動」 ～1週間に1回以上、1スポーツをしよう！～

浜松市では、スポーツ推進のスローガンを「1・1・1運動」 ～1週間に1回以上、1スポーツをしよう！～」とし、スポーツを文化と位置付けて、市民一人ひとりがライフスタイルの一部にスポーツを取り入れ、スポーツの力を活かしながら、人生を豊かにすることができるまちの実現を目指します。

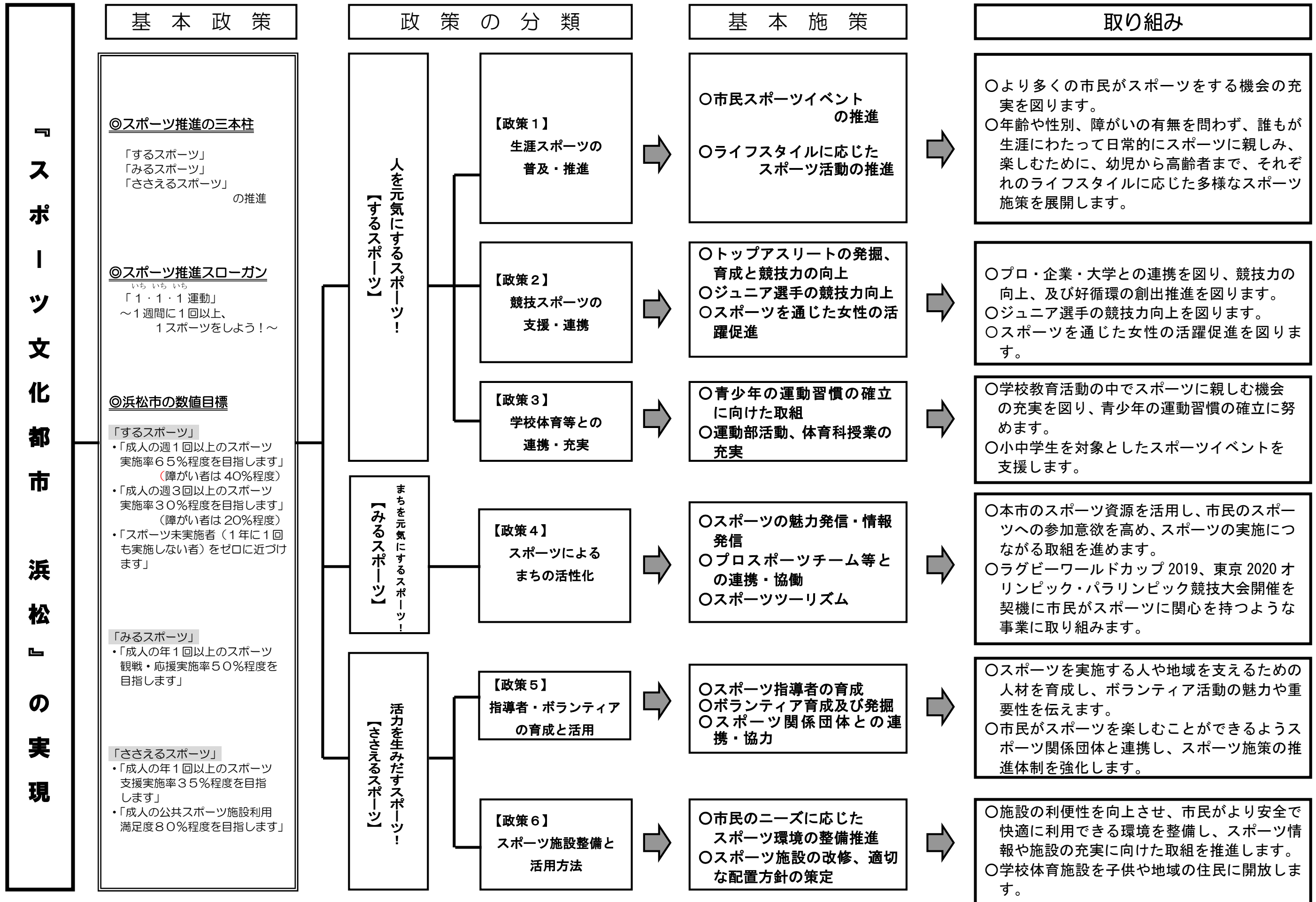


第4章

スポーツを推進するための 具体的な取り組み

『 第2期浜松市スポーツ推進計画 体系図 』

◆計画の期間は、平成31年度～平成36年度までの6年間



1 【するスポーツ】 人を元気にするスポーツ！！

【政策1】 生涯スポーツの普及・推進

目 標

- より多くの市民がスポーツをする機会の充実を図ります。
- 生涯を通じてスポーツに取り組むことを目指した市民参加型スポーツ大会、各種スポーツイベントの推進に取り組みます。

※国：スポーツ基本計画第3章 1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口拡大と、そのための人材育成・場の充実

(1) 市民スポーツイベントの推進

・市民参加型スポーツイベントの充実

【事業概要】

(事業所管課 スポーツ振興課)

浜松シティマラソンや各競技団体の大会、地域スポーツ大会など、市民が気軽に参加でき、日ごろの練習の成果を発揮する機会となる、市民参加型スポーツイベントの充実を図ります。

・市民大会、区民大会の定期的な開催への支援

【事業概要】

(事業所管課 スポーツ振興課)

市民大会や区民大会を実施している競技団体等と連携しながら、初心者が安心して参加できる環境を整えます。

・地域スポーツ団体や地域レクリエーション団体との連携

【事業概要】

(事業所管課 スポーツ振興課)

地域スポーツ・レクリエーション団体と連携し、子どもから高齢者まで、楽しく気軽に参加できるウォーキングイベントや初心者ジョギング教室、ラジオ体操教室、野外活動等のスポーツ・レクリエーション活動の充実を図ります。

・総合型地域スポーツクラブの啓発及び育成・活動支援

【事業概要】

(事業所管課 スポーツ振興課)

子どもから高齢者まで地域住民のだれもが、それぞれの体力や興味・技術に応じて、集い、活動することができるクラブが総合型地域スポーツクラブの基本理念です。

その理念を既存の地域スポーツ団体や地域スポーツ・レクリエーション団体に理解してもらうことにより、総合型地域スポーツクラブへの協力や移行を促します。

- ・ 体力測定 の 推進

【事業概要】	(事業所管課 スポーツ振興課)
継続的に自身の健康状態を知ることにより、健康づくりへの関心を高めるため、体力測定ができる環境を整えます。	

- ・ 医療機関 と の 連携

【事業概要】	(事業所管課 スポーツ振興課)
医師会等と連携し、市民の健康増進や障がい予防のアドバイスとスポーツ実践に関する相談、講演会などを通して、医学的啓発活動の充実を図ります。	

- ・ 小中学校 スポーツ 施設 開放

【事業概要】	(事業所管課 スポーツ振興課)
身近な場所で、気軽にスポーツ活動に取り組むことができるように、小中学校のスポーツ施設を開放します。地域のスポーツ活動の拠点として有効活用し、地域におけるスポーツ活動の活性化を図ります。	

(2) ライフスタイルに応じた多様なスポーツ活動の推進

※国：スポーツ基本計画第3章 2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現

- ・ すべての人が参加できるスポーツ活動の推進

【事業概要】	(事業所管課 スポーツ振興課、健康増進課)
障がい者・健常者がともに楽しむことができるよう、障がい者団体や競技団体、地域スポーツ団体、スポーツ推進委員と連携しながら、だれもが安心して参加できるスポーツイベントを検討し、実施します。	
また、健康寿命 ¹ を延伸し、活力ある社会の実現のため、市民がそれぞれのライフスタイルにおいて、健康で過ごすために必要なスポーツ・運動を習慣化できるような取り組みを推進します。	

- ・ 全国健康福祉祭（ねんりんピック） ² 本大会への選手団派遣

【事業概要】	(事業所管課 高齢者福祉課)
浜松市選手団を派遣し、他府県の選手や開催地関係者等と交流することで、高齢者スポーツを活性化させるとともに、浜松市の PR に取り組みます。	

・高齢者向けスポーツ教室・イベントの充実

【事業概要】	(事業所管課 高齢者福祉課)
高齢者のニーズが高い、健康づくりや体力づくりの教室などのほかに、介護予防教室、ロコモティブシンドローム予防教室など様々なニーズを考慮しながら、高齢者のスポーツ教室やスポーツイベントのより一層の充実を図ります。	

・障がい者スポーツ競技普及と場の確保

【事業概要】	(事業所管課 障害保健福祉課)
より多くの障がい者がスポーツに参加する機会を創出するため、さまざまな種目のスポーツ教室、大会等の実施や小中学校、協働センターなどと連携を図り活動場所や競技用品を確保し、障がい者スポーツの普及に努めます。	

・浜松市障がい者スポーツ大会の開催

【事業概要】	(事業所管課 障害保健福祉課)
スポーツに取り組む障がい者が、日ごろの練習の成果を発揮する機会として、より多くの障がい者が本大会に参加できるよう支援します。	

・全国障がい者スポーツ大会^国への選手団派遣

【事業概要】	(事業所管課 障害保健福祉課)
浜松市選手団として、各代表選手が普段の練習成果などを十分に発揮できるよう支援します。また、障がいのある子及びその保護者を対象に、障がい者スポーツ競技への関心を高め、競技力の向上を目指した練習機会の確保等に努めます。	

・障がい者スポーツ推進体制の整備

【事業概要】	(事業所管課 障害保健福祉課)
障がい者スポーツの環境を整備するため、各競技団体、スポーツ推進委員連絡協議会、学校、障がい者団体等のスポーツ関係者や障害福祉関係者とともに、今後の障がい者スポーツ振興制のあり方等について検討します。	

【政策2】 競技スポーツの支援・連携

目標

○プロ・企業・大学・競技団体・上部組織との連携を図り、競技力の向上及び好循環の創出推進を図ります。

※国：スポーツ基本計画第3章 3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備

（１）トップアスリートの発掘、育成と競技力の向上

・トップアスリート等との連携・協力

【事業概要】

（事業所管課 スポーツ振興課）

浜松市をホームタウンとして活動しているプロスポーツチームを活用して、学校や地域にトップアスリートやコーチを招き、技術指導や講演会等を行い、市民が直接プロ選手に触れる機会を提供し、夢や感動を共有します。

また、チームの活動や試合日程などの広報活動を充実させ、市民のプロスポーツへの関心を高めます。

・全国大会等出場者への支援

【事業概要】

（事業所管課 スポーツ振興課）

全国や国際大会に出場する選手の活躍を市民に広く紹介するとともに、激励金の交付により活動を称揚し、選手の競技意欲の向上を図ります。

（２）ジュニア選手の競技力向上

・トップアスリート等との連携・協力（再掲）

【事業概要】

（事業所管課 スポーツ振興課）

浜松市を拠点として活動しているプロスポーツチームあるいはトップアスリート等と連携・協力することにより、トップアスリートを学校や競技団体に派遣し、子どもたちや指導者など、多くの市民が一流のアスリートと触れ合う機会を提供することで、スポーツへの関心を高めます。

・次世代アスリートを発掘、育成する戦略的な体制等の構築

【事業概要】

(事業所管課 スポーツ振興課)

全国や世界で活躍できるアスリートの育成を図るため、ジュニア期（小学生・中学生・スポーツ少年団）にスポットを当てて、アスリート育成強化の取り組みを進めます。



・ジュニアスポーツ育成

【事業概要】

(事業所管課 スポーツ振興課)

中学校の部活動の選手から強化指定選手を選出して、合同練習やハイレベルな指導を行い、競技力の向上を図ります。また、競技団体や企業、大学、クラブチームと連携し、好循環の創出を図ります。

(3) スポーツを通じた女性の活躍促進

・スポーツを通じた女性の活躍促進

【事業概要】

(事業所管課 スポーツ振興課)

女性アスリート特有のニーズを踏まえた医・科学サポート等が実施できるスタッフ等の育成などの環境整備を行い、スポーツを通じた女性の社会参画、活躍を促進します。

特に、女性ジュニアアスリートとその保護者がともに実践を交えながら学ぶことにより、成長期における体やこころの変化に、家庭でも柔軟にかつ継続的に対応できる知識を身に付け、充実した競技生活へつなげることができるようサポート体制の構築を推進します。

[政策3] 学校体育等との連携・充実

目標

○学校教育活動の中でスポーツに親しむ機会の充実を図り、青少年の運動習慣の確立に努めます。

○小中学校を対象としたスポーツイベントを支援します。

※国：スポーツ基本計画第3章 1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口拡大と、そのための人材育成・場の充実

(1) 青少年の運動習慣の確立に向けた取り組み

・子どもの体力向上事業の実施

【事業概要】

(事業所管課 学校教育部指導課)

長期休業等を活用して、子どもが関心を持てる運動やスポーツを紹介し、定期的に運動に親しむ機会を提供することで、運動の楽しさや関心を深めます。

・食育の推進

【事業概要】

(事業所管課 健康増進課)

日常生活をより健康的に送り、スポーツを活発に行うために、スポーツ団体、教育委員会や食育関係団体と連携・協力しながら、子どもや保護者、指導者等に食育の普及啓発を行います。

(2) 運動部活動、体育科授業の充実

・浜松市教育研究会との連携

【事業概要】

(事業所管課 学校教育部指導課)

教員相互の研究と修養により教育の主体性を確立し浜松市の教育の振興を図る浜松市教育研究会保健体育科研究部において、運動好きの子どもを増やすための授業展開や、体力向上の手立てについて研修を充実します。

・スポーツ大会開催支援

【事業概要】

(事業所管課 学校教育部指導課)

小中学生の運動部活動でスポーツに取り組んでいる子どもが、日ごろの練習の成果を発揮するために行われる大会や競技会について、会場の確保や環境整備、審判員を含めた大会役員の充実など、円滑な大会運営ができるよう支援します。

・学校部活動サポート

【事業概要】

(事業所管課 学校教育部指導課・スポーツ振興課)

国の「運動部の在り方に関する総合的なガイドライン」(平成30年3月)及び「浜松市立中学校部活動運営方針」に伴う、生徒のニーズを踏まえたスポーツ環境の整備について研究・検討を進めます。

2 【みるスポーツ】 まちを元気にするスポーツ！！

【政策4】 スポーツによるまちの活性化

目標

- 本市が保有するスポーツ資源を活用し、市民のスポーツへの参加意欲を高め、スポーツの実施につながる取り組みを進めます。
- ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を契機に、大規模スポーツ大会や合宿誘致により、トップアスリートのパフォーマンスにふれあう機会を創出します。

※国：スポーツ基本計画第3章 2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現

(1) スポーツの魅力発信・情報発信

・スポーツ、合宿等の誘致・開催

ラグビーワールドカップ2019 事前合宿誘致、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会事前合宿誘致

【事業概要】

(事業所管課 スポーツ振興課)

大規模スポーツイベント開催に伴う事前合宿を誘致することにより、世界や全国に向けた浜松市の知名度をアップさせ、地域の活性化に貢献します。

海外から集まる大会参加者と市民が交流できる機会を創出するとともに、スポーツツーリズムを推進し、まちの活性化につなげます。

・大規模スポーツ大会・合宿等誘致

【事業概要】

(事業所管課 スポーツ振興課)

国際大会や全国大会等の大規模スポーツ大会や合宿等の誘致に取り組み、市民スポーツ観戦やボランティア活動に参加する機会を増やします。

また、魅力的な大規模スポーツ大会を誘致・開催することにより、浜松市の魅力を世界や全国に発信し、経済及び地域の活性化にも貢献します。

・都市間連携強化

【事業概要】

(事業所管課 スポーツ振興課)

スポーツイベントの開催、大会や合宿誘致の取り組みなどにおいて、周辺自治体との連携・強化を図ります。これにより、スポーツを通じ、地域の課題の解決をはじめ、地域の活性化につなげます。

・スポーツの魅力発信

【事業概要】	(事業所管課 スポーツ振興課)
<p>市民がスポーツに親しむきっかけづくりとして、多様なイベントを開催している団体と連携し、様々な機会を通じて市民にスポーツの楽しさや魅力を伝える取り組みを検討します。(イベント等での体験コーナー、スポーツ交流、競技紹介、デモンストレーション、スポーツ婚活等)</p>	

・情報提供環境整備の充実

【事業概要】	(事業所管課 スポーツ振興課)
<p>市民がスポーツに親しみやすく、参加しやすくするため、既存の情報ツールを充実させるとともに、時流にあった情報発信ツールの拡充について検討します。</p> <p>また、施設、イベント等の様々な情報について、スポーツ情報を発信し、市民が意欲的にスポーツに取り組める環境の提供に努めます。</p>	

(2) プロスポーツチーム等との連携・協働

・トップアスリート等との連携・協力（再掲）

【事業概要】	(事業所管課 スポーツ振興課)
<p>地元プロスポーツチームなどのトップアスリートが地域に密着した活動を行えるよう、各チームの状況に合わせた支援を行います。</p> <p>また、学校や地域に地元トップアスリートや指導者を招き、スポーツ教室を開催し、市民が直接トップアスリートにふれあう機会を提供し、夢や感動を共有します。</p> <p>さらにプロスポーツチームと連携し、チームの活動や試合日程等の広報活動を充実させ、市民のスポーツへの関心を高めます。</p>	

(3) スポーツツーリズム

・観光分野・産業分野との連携

【事業概要】	(事業所管課 観光・シティプロモーション課)
<p>地域資源を生かした体験型交流事業となるスポーツツーリズムやスポーツコンベンション^④に関連する情報及びスポーツ産業^⑤に関する情報の共有や、関係機関との連携により、市内の観光業などをはじめとした様々な産業への経済波及効果の拡大を推進します。</p>	

3 【ささえるスポーツ】 活力を生みだすスポーツ！！

【政策5】 指導者・ボランティアの育成と活用

目標

- スポーツを実施する人や地域を支えるための人材を育成し、ボランティア活動の魅力や重要性を伝えます。
- 市民がスポーツを楽しむことができるようスポーツ関係団体と連携し、スポーツ施策の推進体制を強化します。

※国：スポーツ基本計画第3章 1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口拡大と、そのための人材育成・場の充実

(1) スポーツ指導者の育成

・地域スポーツ指導者の育成と活用

【事業概要】

(事業所管課 スポーツ振興課)

地域のスポーツ振興に活動できる人材を育成するため、指導者養成講習会を開催します。

また、資格取得者や活動している地域のスポーツ指導者に対しても、それぞれのニーズに応じた指導内容や方法などの研修を充実し、ニーズに応じた指導者を紹介するシステムの活用を促進します。

・スポーツ推進委員の育成と活用

【事業概要】

(事業所管課 スポーツ振興課)

スポーツ推進委員が、地域スポーツ団体と連携・協力し、地域スポーツの企画・立案のコーディネートなど、総合的な地域スポーツの推進役を担えるよう、研修などの充実を図ります。

(2) ボランティアの育成及び発掘

・人材バンクの活用充実

【事業概要】

(事業所管課 スポーツ振興課)

スポーツイベント等の運営を支えてくれるスポーツボランティアを育成・発掘します。

また、スポーツボランティアが継続的な活動をできるようスポーツ人材バンクのシステムの充実を図ります。

(3) スポーツ関係団体との連携・協力

・ボランティア機会の創出

【事業概要】

(事業所管課 スポーツ振興課)

する人、みる人だけでなくスポーツを支え、育てる意義を啓発して、関係団体と協議し、ボランティアとして関わる機会の創出を図ります。

【政策 6】 スポーツ施設整備と活用方法

目標

- 施設の利便性を向上させ、市民がより安全で快適に利用できる環境を整備し、スポーツ情報や施設の充実に向けた取組を推進します。
- 学校体育施設を子どもや地域の住民に開放します。

※国：スポーツ基本計画第3章 1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口拡大と、そのための人材育成・場の充実

スポーツ施設整備基本コンセプト

第1項 スポーツ施設整備にあたって

1 はじめに

スポーツ基本法第12条では、スポーツ施設の整備について、「国及び地方公共団体は、国民が身近にスポーツに親しむことができるようにするとともに、競技水準の向上を図ることができるよう、スポーツ施設（スポーツの設備を含む。）の整備、利用者の需要に応じたスポーツ施設の運用の改善、スポーツ施設への指導者等の配置その他の必要な施策を講ずるよう努めなければならない。」「スポーツ施設を整備するに当たっては、当該スポーツ施設の利用の実態等に応じて、安全の確保を図るとともに、障害者等の利便性の向上を図るよう努めるものとする。」と規定しています。

こうしたことからスポーツ庁では、地方公共団体が、安全なスポーツ施設を持続的に提供し、国民が身近にスポーツに親しむことができる環境を整備できるよう「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」を策定しています。

本市においては、平成28年3月に、ハコモノ資産や道路、橋りょうなどのインフラ資産を含めた市が保有する全ての資産を対象に、資産の見直しや活用、運営管理処分などに関するプロセス全般を資産経営と位置付け、資産経営を長期的かつ確実に推進するための羅針盤として、「浜松市公共施設等総合管理計画」を策定しています。

この計画では、スポーツ施設の今後の方向性を以下のように定めています。

これまで、利用率の低い施設の廃止や指定管理者制度の導入、管理主体の変更などの見直しを行ってきました。

今後は利用者圏域ごとの対応が基本となりますが、民間による類似サービスの提供ができる施設もあることから、公共サービスとして提供する範囲を不断に見直し、民間活力の導入を進めます。

また、更新時には、他の公共用途との複合化、民間の都市機能との複合化など幅広い検討を行うことで、公共施設として更新する場合にあっても財政負担の抑制を徹底します。

なお、利用用途の性質上、人口減少率（全年齢）をひとつの目安として、施設の統廃合や施設の機能・規模の見直しを図ってまいります。

また、平成 29 年 9 月には、市が保有する公共建築物の改修を計画的に実施することで、建築物の長寿命化を図り長期的な財政負担の軽減・平準化と市民への安全で快適な建築物の提供を目的に、「浜松市公共建築物長寿命化指針」も定めています。

（基本方針）

- 方針 1 建築物の目標使用年数を設定し、中長期的な視点から計画的な改修を実施します。
- 方針 2 建築物に不都合が生じた後に改修を行う「事後保全」から異常の兆候を事前に把握・予測して計画的に改修を行う「予防保全」への転換を図ります。
- 方針 3 今後、全庁的に一時期への集中が懸念される改修経費の軽減と平準化を図ります。

平成 30 年度現在、市民部スポーツ振興課は、58 のスポーツ施設を所管していますが、築 40 年を経過している施設が多く、ここ数年の間に施設、設備の改修時期を迎えることとなります。

こうしたことから、既存施設が最大限活用できているか、十分なサービス提供ができているか、将来の人口動態やスポーツの実施状況、スポーツ施設の利用状況を見据え「浜松市スポーツ施設整備基本コンセプト」（以降「基本コンセプト」）を策定します。

2 スポーツ施設の整備の考え方について

各施設の整備を進めるにあたっては、平成 30 年 3 月にスポーツ庁が策定した「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」を踏まえ、施設のあり方を検討します。

なお、本市においては、本ガイドラインの策定に先駆けて「施設カルテ」が作成されており、各施設の個別方針が示されていることから、「施設カルテ」の活用を図ります。

また、本市が定める「浜松市総合計画」、「浜松市“やらまいか”人口ビジョン」「浜松市“やらまいか”総合戦略」、「浜松市公共施設等総合管理計画」、「浜松市公共建築物長寿命化指針」、「浜松市行政経営計画」のほか防災、教育、福祉、都市公園等関連する計画との整合性にも留意します。

3 対象施設

スポーツ施設は、社会体育施設や都市公園内の運動施設のほか、学校、観光、農林業が所管する施設などがありますが、対象とする施設は、市民部スポーツ振興課が所管する 58 施設とします。

ただし、県施設や市民部スポーツ振興課が所管する施設以外との役割分担等にも配慮した配置計画とします。

・ ・ ・ (略) ・ ・ ・

4 スポーツ施設の種類（※出展 体育・スポーツ施設現況調査）

- ・ 陸上競技場
- ・ 野球場、ソフトボール場
- ・ 球技場
- ・ 多目的運動広場
- ・ 水泳プール（屋外）
- ・ 水泳プール（屋内）
- ・ レジャープール
- ・ ダイビングプール
- ・ 体育館
- ・ 柔道場
- ・ 剣道場
- ・ 柔剣道場（武道場）
- ・ 空手、合気道場
- ・ 相撲場（屋内）
- ・ 卓球場
- ・ 弓道場
- ・ アーチェリー場
- ・ 馬場
- ・ アイススケート場（屋内）
- ・ アイススケート場（屋外）
- ・ ローラースケート、インラインローラースケート場（屋外）
- ・ ローラースケート、インラインローラースケート場（屋内）
- ・ 山の家（山小屋、避難小屋を含む）
- ・ トレーニング場
- ・ レスリング場
- ・ ボクシング場
- ・ ダンス場（ダンススタジオ）
- ・ 射撃場（ライフル、けん銃、クレール等）
- ・ ゴルフ場
- ・ ゴルフ練習場
- ・ ボウリング場
- ・ 漕艇場
- ・ ゲートボールクロッケー場
- ・ スカッシュ、ラケットボール場

- ・ヨット場（マリーナ）
- ・スキー、スノーボード場
- ・キャンプ場
- ・ハイキングコース
- ・サイクリングコース
- ・オリエンテーリングコース
- ・ランニングコース
- ・冒険遊具コース
- ・海の家、海水浴場等の施設
- ・河川、湖沼等の遊泳場
- ・スカイスポーツ施設
- ・体操競技場
- ・その他

第2項 現状と課題の整理

1 現状

スポーツ基本法、スポーツ基本計画、本市が定めるスポーツ推進計画等に基づき、スポーツ振興の基本的な考え方とその実現に向けて、「スポーツの実施状況」、「スポーツ施設の整備状況」、「スポーツ施設の利用状況」などから、スポーツ施設をとりまく環境の現状と課題等を整理します。

(1) スポーツの実施状況

区分	団体数	登録者数	体協加盟	備考
競技団体	49	78,481 人	○	H30.3.31 時
小学校体育連合	1	13,277 人	○	H31.3.31 時
中学校体育連盟	1	15,402 人	○	H31.3.31 時
スポーツ少年団	169	4,935 人	○	H30.3.31 時
レクリエーション協会	18	10,110 人	○	H30.3.31 時
高等学校体育連盟	1	9,930 人	—	H30.3.31 時
合計	239	132,135 人		

※体協…公益財団法人 浜松市体育協会

○公益財団法人浜松市体育協会に加盟している、競技団体 49 団体への登録人口調査（H30.3）を実施したところ、競技人口が多い競技団体（上位 10 団体）は、次のとおりです。

① サッカー	12,276 人
② テニス	10,700 人
③ エアロビック	10,600 人
④ バスケットボール	7,552 人
⑤ ソフトテニス	6,490 人
⑥ バレーボール	4,835 人
⑦ 陸上	4,283 人
⑧ 剣道	3,542 人
⑨ ソフトボール	3,491 人
⑩ 軟式野球	1,826 人

○平成 29 年度に実施したスポーツ（運動）に関する市民意識調査（複数回答可）では、よく行うスポーツ（運動）は、次のとおりです。

（軽スポーツ）

- ① ウォーキング
- ② 体操（ラジオ体操、美容体操など）
- ③ ランニング

- ④ 軽い水泳（水中歩行を含む）
- ⑤ 軽い球技（キャッチボール、ドッジボールなど）

（野外スポーツ）

- ① ハイキング
- ② ゴルフ
- ③ 釣り
- ④ サイクリング
- ⑤ スキー

（競技スポーツ）

- ① テニス
- ② 卓球
- ③ サッカー
- ④ ソフトボール
- ⑤ バレーボール

○また、1週間に1回以上のスポーツ実施率は、国では42.5%（H28 スポーツの実施状況等に関する世論調査）、浜松市では47.2%（H29 市民意識調査）となっています。

(2) スポーツ施設の現状

ア 施設の整備状況

施設所管課	中区	東区	西区	南区	北区	浜北 区	天竜 区	計
スポーツ振興課 (アリーナ他)	4	2	6	6	8	12	20	58
公園管理事務所 (緑地 他)	10	7	5	3	2	2	2	31
教育施設課 (小中学校)	37	18	17	15	23	16	15	141
市民協働・地域政策課	6	5	6	6	2	0	2	27
その他	1	0	1	0	0	0	1	3
合 計	58	32	35	30	35	30	40	260

イ 施設種別ごとの役割等

(ア) 体育館

- 広 域 … 浜松アリーナは、国際・国内大会等、大規模大会の開催が可能な施設となっています。
- 市 域 … 浜北総合体育館が浜松アリーナを補完する機能を有しています。
- 地 域 … 地域施設体育館は、地域住民の利用のほか、小規模大会の開催等に利用されています。
- 協働C … コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図るため設置された施設の付設体育館として、地域住民のスポーツ活動の場として利用されています。
- 学 校 … 学校教育施設として体育館が設置されており、学校教育活動に支障のない範囲内で、地域住民のスポーツ活動の場として利用されています。
- その他 … 産業、農業、林業振興施設としての体育館が整備されています。

(イ) グラウンド

- 広 域 … 該当なし
- 市 域 … 該当なし
- 地 域 … 多種目の競技が行えるなど、地域住民のスポーツ活動の場として利用されています。
- その他 … 公園施設内に設置されており、地域住民のスポーツ活動の場として利用されています。

(ウ) プール

- 広 域 … 古橋廣之進記念浜松市総合水泳場は、国際公認プールであり国際・国内大会等、大規模大会の開催が可能な施設となっています。

- 市 域 … 浜北温水プールは、体育館、サッカー場と併設されており、総合スポーツ施設の一角を担っています。
- 地 域 … 北部水泳場、可美公園プール、三ヶ日B & G海洋センタープール、天竜B & G海洋センタープールは、温水プールとして日常的に利用されています。
- その他 … 屋外プールについては、公園施設内に設置されており、夏季のみの使用で主に小学生以下の子どもに利用されています。

(エ) 陸上競技場

- 広 域 … 陸上競技場は、四ツ池陸上競技場のみとなります。記録会の開催や陸上競技練習などで、年間 20 万人を超える利用者がいます。
- 市 域 … 該当なし
- 地 域 … 該当なし
- その他 … 該当なし

(オ) 野球場

- 広 域 … 四ツ池公園浜松球場は、プロ野球公式戦のほか、高校野球静岡県予選会会場として利用されています。
- 市 域 … 該当なし
- 地 域 … 硬式野球ができるスタンド（観客席）が付設された野球場は四ツ池公園浜松球場、明神池運動公園野球場と船明ダム運動公園野球場の3施設となっています。
軟式野球等の大会開催時には、四ツ池公園浜松球場を主会場におき、明神池運動公園野球場と船明ダム運動公園野球場を併用する場合があります。
- その他 … 軟式野球が可能な施設が公園等に整備されています。

(カ) サッカー場

- 広 域 … 該当なし
- 市 域 … 専用サッカー場としては、浜北平口サッカー場が人工芝で整備されており稼働率が高いです。隣接する平口スポーツ広場は、サッカー場のサブグラウンドとして利用されていますが、今後、人工芝グラウンドとして整備を進めていきます。
- 地 域 … 該当なし
- その他 … 該当なし

(キ) テニスコート

- 広 域 … 該当なし
- 市 域 … 花川運動公園庭球場は、屋根付きコートが設置されているほか、20面の人工芝コートを有していることから稼働率も高いです。

- 地 域 … 身近な施設として、公園内を含め市内全域に整備されています。
- 中学校 … 学校教育施設として設置されているテニスコートが、学校教育活動に支障のない範囲内で、地域住民のスポーツ活動の場として利用されています。
- その他 … 身近な施設として、利用されています。

(ク) 武道場

- 広 域 … 該当なし
- 市 域 … 武道館は、旧浜松地区をエリアとした活動拠点となっています。
- 地 域 … 浜北武道館は浜北地区、天竜武道館は天竜地区の地域住民の活動拠点として利用されています。
- 中学校 … 学校教育施設として体育館が設置されており、学校教育活動に支障のない範囲内で、地域住民のスポーツ活動の場として利用されています。
- その他 … 該当なし

(ケ) その他施設

その他施設として、弓道場、アーチェリー場、ゲートボール場、全国大会が開催可能なボート場などが整備されています。

- 広 域 … 該当なし
- 市 域 … 該当なし
- 地 域 … 利用者が限定された競技施設です。
- 中学校 … 学校教育施設として設置されている卓球室が、学校教育活動に支障のない範囲内で、地域住民のスポーツ活動の場として利用されています。

ウ 市民意識調査

- ・平成 29 年度に浜松市で実施したスポーツ（運動）に関する市民意識調査では、市内の公共スポーツ施設利用者の満足度は 77.7%となっています。
- ・市内公共スポーツ施設を一層利用しやすくするためには、
 - ①利用案内などの広報の充実
 - ②施設・設備の増設
 - ③駐車場の整備、増設
 - ④利用手続き、料金の支払い方法などの簡略化
 - ⑤利用時間帯の拡大
 の順でした。
- ・また、今後、特に整備・充実してほしい施設・設備については、
 - ①トレーニングルーム・室内アスレチックルーム
 - ②ウォーキングコース・アスレチックコース・ハイキングコース等
 - ③広くて多目的に使用できる運動広場

- ④プール
 - ⑤現状で十分である
- との順番でした。

．．．(略)．．．

(3) スポーツ施設の特徴

(施設整備の経緯)

- ・これまで、公共スポーツ施設の整備は、大規模な大会や競技団体からの要望等を契機として、その都度対応を行ってきました。
- ・また、本市の場合、再配置計画を実施していますが、広域合併後の施設配置は決してバランスが良いとはいえません。

(様々な施設の種別がある)

- ・スポーツは多種多様であり、スポーツ施設の種別も多様であります。
- ・また、体育館のように複数種目が実施可能な施設もあれば、実施種目が限られる施設もあります。マリンスポーツのように、更衣室、シャワーといった附属施設が必要となるスポーツもあります。

(目的に応じて最適な施設の規模や仕様が異なる)

- ・一定規模以上の競技大会等を開催できる施設は、大会に即し同時に複数の競技や試合が行えるような規模・仕様となっています。
- ・また一方で、地域住民が日頃の運動のために利用する施設としては、地域ごとに小規模なスポーツ施設が設置されています。

(所管が複雑である)

- ・市内の主なスポーツ施設には、社会体育施設や都市公園内の運動施設のほか、学校、観光、農林業が所管する施設もあります。
- ・スポーツ施設のうち約5割が小中学校等に潜在的に存在しており、地域住民が日頃の運動のために利用する施設については、学校体育施設の活用が図られています。

(防災施設として位置づけられている)

- ・スポーツ施設の多く（約43%）が、浜松市防災計画において、避難所や避難場所、その他防災拠点として使用することになっており、構造体耐震化や吊り天井の落下防止策の対応を進めています。

区分	施設名
ヘリポート	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四ツ池運動公園 ・ 雄踏グラウンド ・ 舞阪乙女園グラウンド ・ 可美公園

	<ul style="list-style-type: none"> ・三ヶ日運動場 ・明神池運動公園 ・天竜川運動公園 ・船明ダム運動公園 ・龍山総合運動場 ・春野犬居スポーツ広場 ・春野熊切スポーツ広場 ・春野気田スポーツ広場 ・水窪総合体育館 ・水窪グラウンド
緊急避難場所	<ul style="list-style-type: none"> ・花川運動公園 ・古橋廣之進記念浜松総合水泳場 ・雄踏総合体育館 ・舞阪総合体育館 ・舞阪乙女園グラウンド ・大塚グラウンド ・新橋体育センター ・奥山体育センター ・船明ダム運動公園 ・水窪総合体育館 ・春野犬居スポーツ広場 ・春野熊切スポーツ広場 ・春野気田スポーツ広場 ・龍山健康増進センター
避難所	<ul style="list-style-type: none"> ・雄踏総合体育館 ・奥山体育センター ・水窪総合体育館 ・龍山健康増進センター
津波避難場所	<ul style="list-style-type: none"> ・古橋廣之進記念浜松総合水泳場
遺体安置所	<ul style="list-style-type: none"> ・可美公園 ・浜北武道館 ・サンライフ浜北 ・天竜体育館
ボランティア宿营地	<ul style="list-style-type: none"> ・可美公園 ・船明ダム運動公園
応急救護所	<ul style="list-style-type: none"> ・水窪総合体育館

2 スポーツ施設の課題

(1) 安全・快適

- ・ 築 40 年を経過する施設が多く、改修時期を迎えています。
- ・ 施設の長寿命化を図るためには、計画的な予防保全が必要となります。
- ・ 天災や故障等による機能低下がみられる施設があるため、早期の機能回復が必要となります。
- ・ 附帯設備や駐車場などの周辺環境の充実が求められています。

(2) 効果・効率

- ・ 人口減少等による利用率の低い施設の複合化、集約化については引き続き検討が必要となります。
- ・ 広域施設では、競技者や大会運営者のニーズに応える高規格な施設整備が求められています。
- ・ 広域施設では、単にスポーツの利用にとどまることなく、多様な活用が可能な様々な機能を併せ持つ整備検討が必要となります。

(3) 高度なスポーツ環境の提供

- ・ 広域施設においては、競技基準（観客席数、照明設備、諸室など）を満たす施設整備が必要となります。

(4) 健康増進を図るための環境の提供

- ・ 幼児から高齢者まで、及び障害の有無にかかわらず、だれもが、いつでも施設を利用できるようにユニバーサルデザインに配慮した整備が求められます。

(5) 他施設との連携・民間ノウハウの活用

- ・ 他施設との統廃合や機能の複合化、民間施設、県施設、大学施設等との連携について、引き続き検討が必要となります。

(6) 防災施設としての機能

- ・ 公共施設に求められる機能のひとつである、災害時における防災機能を兼ね備えるとともに、浜松市防災計画に位置付けられた役割を発揮するための整備が必要となります。

(7) 交流人口の拡大

- ・ 地域・経済活性化のため、スポーツ施設を活用した交流人口の拡大が求められています。

．．．(略)．．．

第3項 スポーツ施設の役割・機能に応じた整備方針

各施設の整備を進めるにあたっては、各施設の役割・機能などに配慮する必要があります。また「浜松市公共施設等総合管理計画」で定める利用圏域区分に応じた基本的な整備方針を定めるとともに、短期、中長期的な視野にたった整備計画を策定します。

1 安全・快適

（老朽化に対応した整備）

- ・建築物の目標使用年数を設定し、中長期的な視点から計画的な改修を実施します。
（長寿命化指針から）
- ・建築物に不都合が生じた後に改修を行う「事後保全」から異常の兆候を事前に把握、予測して計画的に改修を行う「予防保全」への転換を図ります。（長寿命化指針から）
- ・全庁的に一時期への集中が懸念される改修経費の軽減と平準化を図ります。（長寿命化指針から）
- ・老朽化の著しい施設・設備を優先して整備します。
- ・天災被害や故障等により機能維持できない施設整備については、緊急性や利用状況に配慮し優先的に早期機能回復します。
- ・イニシャルコストやランニングコストの低減と、長寿命化を基本とした整備を推進します。

2 効果・効率

（施設規模・役割に対応した整備）

- ・浜松市公共施設等総合管理計画に基づき、利用率を勘案した施設の複合化や集約化等、指定管理者制度の導入、管理主体の変更などの見直しを継続するとともに、民間施設や他都市との連携等を進めるなど適正配置を検討します。
- ・広域施設（拠点施設）については、全国大会や国際大会などの開催を視野に入れた、機能向上を図ります。
- ・利用圏域を市域とする施設については、機能の維持に努めるとともに、市民ニーズに応じた整備を図ります。
- ・利用圏域を地域とする小規模施設については、機能維持を確保します。
- ・スポーツの利用にとどまることなく、民間活力による多様な機能を併せ持つ、質の高い市民サービスが提供できる整備を検討します。

3 高度なスポーツ環境の提供

（競技スポーツに対応した整備）

- ・プロスポーツが試合会場などで使用している施設については、競技基準（競技場施設・照明設備等）を満たす整備に努めます。

4 健康増進を図るための環境の提供

(生涯スポーツに対応した整備)

- ・生涯スポーツを通じた交流、コミュニケーションを促進する機能を導入し、稼働率の向上に努めます。
- ・スポーツ施設のユニバーサルデザイン化を推進し、安全・快適な公共施設を提供します。

5 他施設との連携、民間ノウハウの活用

(民間や県との役割分担を図った整備)

- ・他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も視野に入れながら、大規模改修など施設の長寿命化を進めます。また、近隣市町や県との連携など、区域による運営、利活用についても検討します。(浜松市公共施設等総合管理計画から抜粋)
- ・大学や民間等が保有するスポーツ施設の開放や活用の可能性を検討します。

6 防災施設としての機能

(防災機能を有した整備)

- ・公共施設が持つ機能のひとつとして、発災時には住民の命や財産を守り、発災後には市民生活の早期復旧のための防災機能を兼ね備えた整備が必要となります。

7 交流人口の拡大

(スポーツコミッションに対応した投資)

- ・広域施設などを活用した大規模大会やスポーツツーリズム等により、交流人口の拡大を図ります。
- ・国が推進する多機能、複合型のスポーツ施設となる「スタジアムアリーナ(※注1)」「スマートベニュー(※注2)」を視野に入れた整備を検討します。

※注1 スタジアムアリーナは、スポーツ産業の持つ成長性を取り込みつつ、その潜在的な力を最大限発揮し、飲食・宿泊、観光等を巻き込んで地域活性化の起爆剤とする手法。

※注2 スマートベニューとは、多機能複合型スポーツ施設を核とした街づくりの手法として、株式会社日本政策投資銀行が提案した新しい概念。

